

来春新入学を迎えるお子様の保護者の皆様へ

日頃より、品川区の学校教育に対して温かなご支援、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。皆様におかれましては、お子様の小学校入学が近づき、心躍らせていることと思います。

本区では、平成11年度から様々な教育改革に取り組んでおり、その柱の一つが学校選択制です。学校選択制により各学校が切磋琢磨しながら特色ある教育活動を展開することで、開かれた学校づくりの推進や「子どもに適した教育を受けさせたい」という保護者の皆様の願いに応えることができます。同時に、それぞれの学校では、地域行事への参加や防災訓練の合同実施など、地域とのつながりをより深められるよう、取り組んでいます。

教育改革は、平成28年より「品川教育ルネサンス - For The Next Generation -」としてさらなる推進を図っています。具体的には次の示す三つの柱で目指す教育です。第一に品川コミュニティ・スクールの実施により、学校の主体性を高め、地域との協働による特色づくりを行う地域とともにある学校づくり、第二に小学校・中学校・義務教育学校の異なる学校種の間で、学校の特色や個々の可能性を高める三校種体制における学校教育の推進、第三にこれからの時代を生き抜く児童・生徒を育成する9年間の一貫したカリキュラムの実現です。この複雑化・多様化する時代を生き抜き、SDGsに関連した課題を解決することができる、「未来を切り拓く力」をもった児童・生徒を育成します。

区では、小学校・中学校・義務教育学校の通学区域を一致させることにより、どの学校を選択していただいても円滑な連携を実施しながら一貫した教育を受けられるようになっております。この学校案内では、各学校の情報のほか、学校選択制度の内容について、細かく記載しております。学校選択にあたっては、本冊子とともに、各学校で作成しているパンフレットやホームページなども参考に、是非学校公開や説明会にご参加いただき、実際に学校生活の様子をご覧いただきたいと考えております。学校説明会については、新型コロナウイルス感染症の広がりを受け、各学校とも感染拡大防止に万全を尽くして実施する予定です。訪問の際には、設定日時や対象者の制限などがありますので、あらかじめ学校ホームページ等でご確認していただいた上でお越しくください。

学校選択を検討される際には、地域と学校との日常的なつながりやお子様の通学の安全確保、災害時の対応なども考慮し、ご家庭で十分にご相談のうえご判断いただきますよう、お願い申し上げます。

令和4年9月

品川区教育委員会

目 次

- 品川区の教育の特色をご紹介します 2
- 「義務教育学校」と「小学校・中学校」との相違点 4
- 新入学までの手続についてお知らせします 5
- 学校改築についてお知らせします 5
- **学校選択制、指定校変更について一部変更があります** 6
- 学校選択制について 8
- 学校選択制の変更について 12
- 通学区域の一部変更について 13
- 変更にともなう経過措置について 13
- 抽選について 16
- 就学指定通知書の発送について 18
- 区内転居・区外転出・海外転出を予定される場合 18
- 国公私立小学校に就学される場合 18
- 就学相談～児童の成長のことで気になることはありませんか～ 19
- 外国籍の方の品川区立小学校・義務教育学校への入学について 19
- 外国人学校（インターナショナルスクールなど）に就学される場合 19
- 就学に必要な費用の援助について（就学援助費） 19
- 指定校変更の申請について 20
- 指定校変更をご利用いただくにあたって 20
- 入学校決定までの流れ 21
- Q & A 24
- 令和5年度 各学校の新入学受入可能児童数・学級数 28
- 指定校変更許可基準 67
- 品川区立小学校・義務教育学校（前期課程）通学区域一覧 68
- 品川区立中学校・義務教育学校（後期課程）通学区域一覧 70

各 学 校 の 紹 介

※ ★は義務教育学校を表しています。

① 城南小学校..... 30	★ 伊藤学園 49
② 浅間台小学校..... 31	★ 八潮学園 50
③ 三木小学校..... 32	②② 京陽小学校..... 51
④ 御殿山小学校..... 33	②③ 延山小学校..... 52
⑤ 城南第二小学校..... 34	②④ 中延小学校..... 53
⑥ 第一日野小学校..... 35	②⑤ 小山小学校..... 54
⑦ 芳水小学校..... 36	②⑥ 第二延山小学校..... 55
⑧ 第三日野小学校..... 37	②⑦ 後地小学校..... 56
⑨ 第四日野小学校..... 38	②⑧ 清水台小学校..... 57
⑩ 台場小学校..... 39	②⑨ 小山台小学校..... 58
★ 日野学園 40	★ 荏原平塚学園 59
★ 品川学園 41	③① 大原小学校..... 60
⑬ 大井第一小学校..... 42	③② 宮前小学校..... 61
⑭ 鮫浜小学校..... 43	③③ 源氏前小学校..... 62
⑮ 山中小学校..... 44	③④ 戸越小学校..... 63
⑯ 立会小学校..... 45	③⑤ 旗台小学校..... 64
⑰ 浜川小学校..... 46	③⑥ 上神明小学校..... 65
⑱ 伊藤小学校..... 47	★ 豊葉の杜学園 66
⑲ 鈴ヶ森小学校..... 48	



品川区の教育の

9年間の一貫教育と義務教育学校

品川区では、全国に先駆け、平成18年度に小中一貫教育を開始し、学力の向上と豊かな人間性の育成を目指し、義務教育9年間を一貫として捉え、連続性・継続性のある教育活動を行ってきました。この間、小学生と中学生とが一つの施設で学ぶ施設一体型小中一貫校も順次開設し、10年に渡り実践を積み重ねてきました。

そして、平成28年4月には、学校教育法等の一部を改正する法律が施行され、小学校・中学校に加えて、義務教育学校が新たな校種として位置づけられ、施設一体型小中一貫校6校は「義務教育学校」となりました。

これからも、小学校、中学校、義務教育学校それぞれの特徴を生かし、全校で9年間の一貫教育を実施していきます。

義務教育学校：日野学園、伊藤学園、八潮学園、荏原平塚学園、品川学園、豊葉の杜学園

1年生からの英語教育

小学校・義務教育学校では、1年生から英語を学習しています。1～4年生は「楽しむ英語」、5～9年生は「使える英語」をコンセプトに、授業では担任に加え1・2年生はALT（外国語指導助手）、3～6年生はJTE（英語専科指導員）とともに学んでいます。

また、全校でジュニア・イングリッシュキャンプを実施しています。

学校ICT教育推進

品川区ではICT機器（情報・通信に関する技術を活用したコンピュータ機器）を活用した授業を行っています。全区立学校にデジタル教科書やプロジェクト、書画カメラなどを整備し、視覚的にわかりやすい学習を展開するほか、児童の発表にも活用しています。また、全児童・生徒には1人1台のタブレット端末を配備し、このタブレット端末を活用した学習を促すための授業を展開しています。

特色をご紹介します

まもるっち

まもるっちは「GPS機能付き緊急通報装置」です。区立小学校・義務教育学校(前期課程)の全ての児童に無料で貸与しています。区内に住所がある私立・国立小学校等に通学する児童にも希望があれば貸与しています。

品川区独自教科「市民科」

「市民科」は、他の自治体で行われている「特別の教科 道徳」「特別活動」「総合的な学習の時間」に代わるもので、社会の中で生きていくために必要な能力や判断力、行動力を育成していくものです。

経済活動体験学習の実施

経済や社会の仕組みを実際に体験しながら学ぶ場として、「ステューデント・シティ」を全ての5年生*を対象に実施しています。

「ステューデント・シティ」では、一人の児童が消費者と会社員の二役を交互に体験します。社会は全てがつながっている「共存社会」であることを活動を通し学習します。
※新型コロナウイルス感染症の影響で、令和4年度は6年生を対象に実施しました。

しながわ学校2020レガシー

オリンピック・パラリンピック教育において、これまで取り組んできた各校の教育活動を、東京2020大会終了後も「しながわ学校2020レガシー」として継続していきます。

品川コミュニティ・スクール

これからの学校は、保護者や町会・自治会、卒業生を含めた地域の方々に、今まで以上に学校運営に主体的に参加していただき、共に学校づくりを進めていく体制が必要です。そのための仕組みが品川コミュニティ・スクールです。学校運営に参画する「校区教育協働委員会」と、実際に学校支援を行う「学校支援地域本部」の二つの組織を同時に設置します。

平成28年度から3か年計画で実施校を拡大し、平成30年度からは全校で取り組んでいます。

「義務教育学校」と「小学校・中学校」との相違点

平成28年4月1日に学校教育法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、これまでの小学校、中学校に加えて「義務教育学校」が新たな校種として位置付けられました。

このことを踏まえ、品川区では施設一体型小中一貫校6校を「義務教育学校」としました。小学校・中学校と義務教育学校では、基本的に教育内容および学校生活には変更ありませんが、以下のような相違点があります。

義務教育学校とはどんな学校ですか？

修業年限：9年間

小学校段階に相当する6年を「前期課程」

中学校段階に相当する3年を「後期課程」に区分

組 織：校長1名 副校長3名 一つの教職員組織

どの学校が義務教育学校に当たるのですか？

日野学園・伊藤学園・八潮学園・荏原平塚学園・品川学園・豊葉の杜学園の6校です。

入学や卒業などに関する相違点

	義務教育学校	小学校・中学校
6年生修了時	義務教育学校の前期課程修了	小学校の全課程修了
	前期課程修了証書を発行	卒業式を実施 卒業証書を発行
7年生入学時	内部進学者（※1）→ 進 級 外部進学者（※2）→ 転編入学	中学校入学
		入学式を実施
9年生修了時	義務教育学校の後期課程修了	中学校の全課程修了
	卒業式を実施 卒業証書を発行	

※1 義務教育学校（前期課程）から同一の義務教育学校（後期課程）へ進む者のこと。

※2 他の学校から義務教育学校（後期課程）に入る者のこと。

- ◎ 義務教育学校（前期課程）修了時（6年生修了時）に、学校選択により全ての中学校および義務教育学校（後期課程）を選択することが可能です。
また、7年生から、義務教育学校（後期課程）に入ることも可能です。
ただし、希望校が抽選になった場合は、ご希望に沿えないこともあります。

⇒ その他義務教育学校に関するQ&Aについては、26ページをご参照ください。

◆ 新入学までの手続についてお知らせします ◆

1 入学までの流れ

9月下旬	住所ごとに決められた通学区域の学校を通知
10月	学校公開・学校説明会を実施
10月末まで	通学区域外の学校を希望する方の 学校選択の申請期間
11月頃	各校で 就学前健康診断 の実施
11月下旬	学校選択で希望の多かった学校の 抽選 実施
12月下旬	教育委員会から 就学指定通知書 の発送(入学校を指定)
2月	各校で 入学準備 のための 入学説明会 を実施
4月上旬	入学式

区教育委員会では、住所ごとに入学する学校が指定される通学区域を定めており、通学区域の学校への入学を原則としています。

2 通学区域の学校に入学する場合

通学区域の学校に入学を希望される場合は、手続きは不要です。学校選択のための希望申請票の提出は、必要ありません。

12月下旬に通学区域の学校を指定した就学指定通知書（はがき）をご自宅に郵送しますので、その通知書を入学説明会などで通学区域の学校にご提出ください。

3 通学区域外の学校に入学を希望する場合

品川区では「学校選択」の申請をすることで通学区域以外の学校を希望することができます。詳細は8～12ページをご参照ください。

また、入学校指定後に「指定校変更」手続によって指定校以外の学校に変更できる場合もあります。詳細は20・67ページをご参照ください。

◆ 学校改築についてお知らせします ◆

改築工事予定は、下表のとおりです。

各校とも、工事の時期や内容は、今後変更することがあります。

学校名	設計	校舎改築工事	新校舎使用開始	グラウンド等整備完了予定
浜川小学校	完了	工事中	令和6年4月から	令和7年7月末
第四日野小学校	完了	工事中	令和5年9月から (新校舎の一部は 令和7年9月から)	令和8年10月末
城南第二小学校	実施設計中	令和5年 夏頃から	令和7年春頃から (新校舎の一部は 令和9年春頃から)	令和10年夏頃

源氏前小学校は、学校改築のため令和6年3月末まで設計を行う予定です。

学校選択制、指定校変更について一部変更があります

近年、品川区全域において、就学人口が増加しており、今後も増加傾向にあります。これにより一部の学校では、学習するための教室が不足し、通学区域の児童の受入れが困難な状況になっております。※各通学区域における就学人口については、次のページをご参照ください。

さらに、令和3年度より小学校、義務教育学校（前期課程）が1学級、40人から35人に引き下げられたため、教室がさらに必要な状況となっております。

現在、品川区教育委員会では、多目的室や図書室などを普通教室に転用することを計画的に実施し、通学区域の児童を受入れる体制を整備しております。今後は、学校選択制、指定校変更、通学区域の見直しなどを検討していく予定です。

令和5年度入学については、下記のとおり一部変更します。

● 学校選択制の一部変更について ●

【変更点】 令和5年度入学より学校選択除外校を設定します。
(学校選択でご希望いただけません)

【学校選択除外校】 城南小学校

【理由】

子どもに適した教育を受けさせたいというご家庭の願いに応えるべく学校選択制を実施してまいりましたが、近年抽選校も増加し、該当学校は兄弟がいても入学できない状況、通学区域外の児童の受入れが一人もできない状況が続いております。

そこで、学校選択制をご家庭にとって、より有効に活用していただくために、令和5年度入学より選択除外校を設定いたします。

すでに学校の受入れ可能数を就学予定者数が上回っており、今後複数年にわたってその状態が継続することが予想される場合、学校選択除外校とします。通学区域外の児童が入学できないことが高い確率で想定される学校を除外することで、当初より、通学区域外でも入学の可能性のある学校を選択できるため、ご家庭での学校選択が意義のあるものになると考えます。

● 指定校変更の一部変更について ●

【変更点】 令和5年度入学より指定校変更除外校を設定します。(転居を除く)

【指定校変更申請ができない学校】 城南小学校

品川区教育委員会では、区立学校に入学を希望される児童、生徒が、適正な教育環境で学校生活を送れるよう努めてまいりますので、引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

No.	学校名	令和4 (現在)	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
		在籍者	学区内就学人口 (R4.4.1 時点)					
1	城南小学校	140	168	201	221	214	225	221
2	浅間台小学校	34	53	46	53	67	67	53
3	三木小学校	69	76	77	73	81	79	94
4	御殿山小学校	122	129	138	131	101	103	103
5	城南第二小学校	83	142	109	131	136	126	121
6	第一日野小学校	89	79	97	87	104	90	86
7	芳水小学校	131	146	157	135	150	167	141
8	第三日野小学校	130	164	148	131	143	151	158
9	第四日野小学校	89	114	97	112	104	106	115
10	大井第一小学校	129	109	136	136	127	136	100
11	鮫浜小学校	96	92	125	109	116	104	106
12	山中小学校	83	105	82	114	106	107	130
13	立会小学校	94	102	89	84	98	88	78
14	浜川小学校	169	212	241	225	211	177	172
15	伊藤小学校	92	97	91	72	77	75	77
16	鈴ヶ森小学校	109	101	125	131	152	140	153
17	台場小学校	65	66	57	65	70	69	64
18	京陽小学校	68	77	66	63	91	91	63
19	延山小学校	85	80	55	79	92	75	62
20	中延小学校	17	52	61	64	49	51	53
21	小山小学校	70	60	55	54	61	60	72
22	大原小学校	42	66	41	47	44	39	56
23	宮前小学校	67	53	63	65	57	49	65
24	源氏前小学校	61	73	55	77	77	67	68
25	第二延山小学校	101	107	109	110	98	111	89
26	後地小学校	87	99	95	103	111	117	119
27	戸越小学校	66	70	69	64	59	62	59
28	旗台小学校	50	51	73	59	61	56	67
29	上神明小学校	49	39	57	43	37	59	41
30	清水台小学校	51	47	46	51	50	41	41
31	小山台小学校	47	45	45	46	35	31	34
32	日野学園	77	75	62	82	80	67	77
33	伊藤学園	92	104	101	102	89	84	103
34	八潮学園	133	73	74	77	68	60	46
35	荏原平塚学園	74	61	73	60	59	58	53
36	品川学園	125	75	70	62	82	53	70
37	豊葉の杜学園	97	85	84	81	86	61	74
	計	3183	3347	3370	3399	3443	3302	3284

○令和4年（現在）は、令和4年4月7日時点での1年生の在籍者数です。

○令和5年以降は、令和4年4月1日時点での各年度6歳の住民基本台帳登録者数を掲載しています。

学校選択制について

学校選択制は、通学区域の児童を受け入れた後に、受入可能児童数（28・29ページ）に余裕がある場合に、通学区域外の児童を受け入れるものです。

小学校・義務教育学校の学校選択は、品川区立小学校・義務教育学校に入学する新1年生を対象に、通学区域が隣り合っている（隣接している）学校の中から1校を選択していただける制度です。

なお、令和元年度入学者までは、37校を4つのブロックに分け、通学区域が属するブロック内から1校選択できる制度でした。このブロック選択校に兄弟が在籍している場合は、経過措置がありますので「変更にとまなう経過措置について」（13ページ）をご覧ください。

提出期間 令和4年10月3日（月曜日）から31日（月曜日）まで
ただし、郵送の場合は10月31日（月曜日）消印有効
（ポスト投函日ではありません。）

提出先 〒140-8715 品川区広町2丁目1番36号
品川区教育委員会事務局 学務課 学事係（品川区役所第二庁舎7階）
（窓口受付時間：午前8時半から午後5時まで。土曜日・日曜日・祝日を除く。）

対象者 令和4年10月31日現在品川区に住民登録がある小学校・義務教育学校新1年生
学校希望申請締切日（10月31日）までに転居される場合の希望申請票の提出については、22ページをご参照ください。

提出書類の記入漏れや書類の不備があった場合、期日を過ぎた場合（不着郵便事故を含む）は、学校選択希望申請が無効となる場合がございますので、ご注意ください。

希望申請期間中とその終了後に申請状況を品川区のホームページでお知らせしています。

品川区ホームページ <https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

※特別なお事情により選択できる学校以外の学校に変更を希望をする場合は、**指定校変更**で申請してください（20・67ページをご参照ください。）。なお、要件があります。

※**学校希望申請期間後（11月以降）に転居される場合の手続については、23ページ**をご参照ください。

希望されても受入れできない場合があります

近年の就学人口の増加に伴い、通学区域外から希望申請をされても受入れできない場合が生じています。

昨年度は、希望された方の一部あるいは全員を受け入れできなかった学校が18校、そのうち希望校に兄弟が在籍していても受入れできなかった学校が7校ありました。

(昨年度の抽選実績は28・29ページをご参照ください。)

今後も、就学人口の増加が見込まれることから、兄弟姉妹であっても同一の希望校に入学できない場合もありますので、その点をご了承の上で学校選択をしてください。

義務教育学校を希望する方へ

義務教育学校に入学したのち、同じ義務教育学校の7年生（後期課程）に進級を希望したときは、無抽選で進級できます（手続は不要です。）。

希望が集中し抽選になる場合について

希望申請者が受入可能児童数を超えた学校は、**抽選**となります。

抽選になった場合は11月18日（予定）に、品川区のホームページでお知らせするとともに、抽選対象者全員に郵送でお知らせします。

ただし、抽選校においても通学区域の児童は無抽選で入学できます。

希望する学校に既に兄弟が通われている場合について

既に**兄弟**が通っている学校に希望申請し抽選になった場合は、優先順位が第1順位になります。ただし、**必ず入学できるということではありませんので、ご注意ください**（優先順位については16ページをご参照ください）。近年、品川区の就学人口は著しく増加しており、兄弟と同じ学校へ希望しても入学できない学校もあります。兄弟が既に通っていることを理由に学校選択される場合は、**ご了承の上**で希望申請をしてください。

兄弟とは……来年度入学を希望する学校に既に兄または姉が在籍（小学校の場合、現1年生から5年生まで、義務教育学校の場合、現1年生から8年生までに在籍）している場合を指し、今年度卒業される小学校6年生および義務教育学校9年生は含みません。

【ご注意ください】

※希望される学校に兄弟が在籍している場合、希望申請票に兄弟の氏名をご記入ください。申告がない場合、抽選となった場合の優先順位の優遇は受けられません。

同一世帯に同一学年児が複数いる場合

双生児など、同一世帯に同一学年児が複数いる場合の抽選は、一人一人個別に抽選を行うか、または、希望により抽選対象を一組とすることができます。

一組とする場合は、希望申請票に一組で抽選を希望する旨を記入してください。

希望申請の結果について

抽選とならなかった学校は、希望者を全て受入れできます。

また、抽選校であっても、抽選対象にならなかった方（優先順位第1位までは受入れができた場合など）は受入れができますので、12月下旬に希望した学校を指定した就学指定通知書（はがき）を郵送します。

小学校・義務教育学校（前期課程）の学校選択対象校一覧

通学区域の学校	希望選択可能な学校								旧ブロック
城南	城南第二	浅間台	品川学園	立会	鮫浜				品川・大崎
浅間台	※城南	品川学園	立会	山中					
三木	芳水	豊葉の杜学園	戸越	山中					
御殿山	台場	芳水	日野学園	品川学園					
城南第二	※城南	台場	品川学園	鮫浜	八潮学園				
第一日野	芳水	第四日野	日野学園	後地	京陽	宮前			
芳水	御殿山	三木	第一日野	日野学園	品川学園	戸越	宮前	山中	
第三日野	第四日野	日野学園	第一日野						
第四日野	第一日野	第三日野	日野学園	後地	小山台				
台場	城南第二	御殿山	品川学園						
日野学園	御殿山	芳水	第一日野	第三日野	第四日野				
品川学園	※城南	城南第二	浅間台	台場	御殿山	芳水	山中		
大井第一	山中	立会	浜川	鈴ヶ森	伊藤学園				大井・八潮
鮫浜	立会	浜川	八潮学園	※城南	城南第二				
山中	大井第一	立会	伊藤学園	品川学園	豊葉の杜学園	浅間台	芳水	三木	
立会	大井第一	鮫浜	山中	浜川	浅間台	※城南	伊藤学園		
浜川	大井第一	鮫浜	立会	鈴ヶ森	八潮学園				
伊藤	伊藤学園	豊葉の杜学園	上神明						
鈴ヶ森	大井第一	浜川	伊藤学園						
伊藤学園	大井第一	山中	伊藤	豊葉の杜学園	上神明				
八潮学園	鮫浜	浜川	城南第二						
京陽	中延	後地	荏原平塚学園	宮前	第一日野				荏原西
延山	中延	第二延山	清水台	旗台	源氏前	大原	宮前	荏原平塚学園	
中延	京陽	延山	第二延山	荏原平塚学園	宮前				
小山	第二延山	後地	荏原平塚学園						
第二延山	延山	中延	小山	清水台	荏原平塚学園				
後地	京陽	小山	小山台	荏原平塚学園	第一日野	第四日野			
清水台	第二延山	延山	旗台	荏原平塚学園					
小山台	後地	第四日野	荏原平塚学園						
荏原平塚学園	京陽	中延	小山	第二延山	後地				
大原	宮前	源氏前	戸越	上神明	豊葉の杜学園	延山			荏原東
宮前	大原	戸越	延山	中延	京陽	第一日野	芳水	豊葉の杜学園	
源氏前	大原	旗台	上神明	延山	豊葉の杜学園				
戸越	大原	宮前	豊葉の杜学園	三木	芳水				
旗台	源氏前	清水台	延山	荏原平塚学園					
上神明	大原	源氏前	伊藤学園	豊葉の杜学園	伊藤				
豊葉の杜学園	大原	戸越	上神明	伊藤学園	三木	山中	伊藤		

青太字は義務教育学校

※城南小学校は、学校選択除外校のため、令和5年度は学校選択の申請ができません。

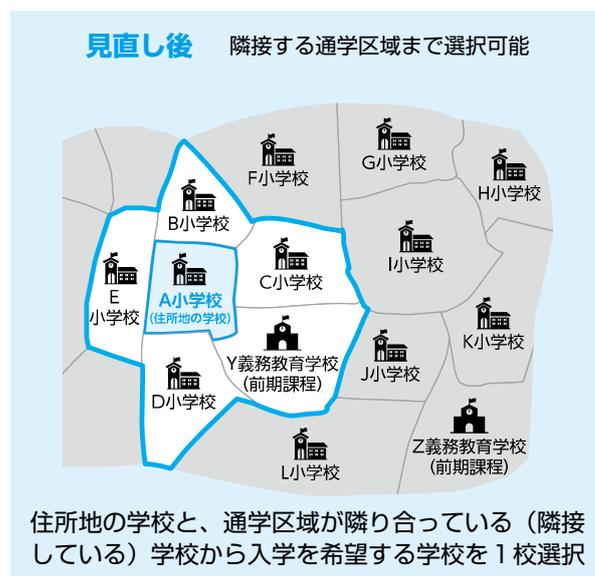
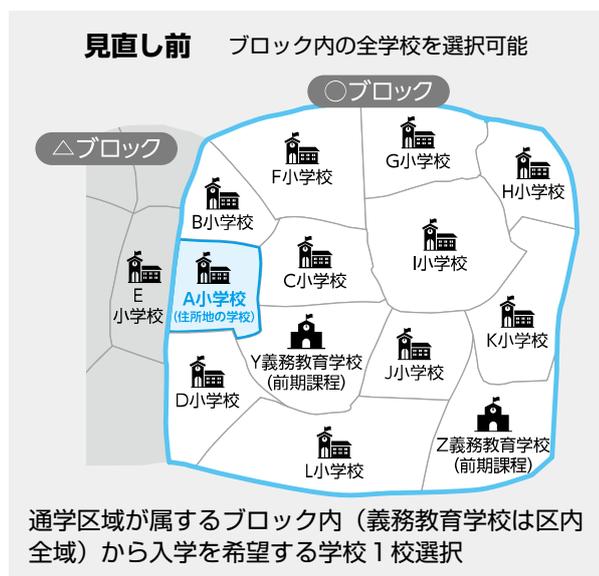
なお、城南小学校を選択した場合は、希望申請が無効になります。

〈隣接しない通学区域の特例措置〉

- ①隣接する数が極端に少ない学校（第三日野小学校）については、最低3校選べるよう、隣接以外で最も近い学校（第一日野小学校）を選択対象校に追加。（薄水色で表示）
- ②義務教育学校と通学区域が接していない学校については、その学校から最も近い義務教育学校を選択対象校に追加。（青色で表示）

学校選択制の変更について

学校を選択できる良さを保ちながら、「地域とともにある学校づくり」を推進し、また遠距離通学を解消するため、令和2年度入学から、小学校・義務教育学校（前期課程）の学校選択制を「ブロック内の選択」から通学区域が隣り合っている（隣接している）学校を選択できる「隣接校選択」の仕組みに変更しております。



学校選択制の変更の内容

- ◆小学校・義務教育学校（前期課程）入学時の学校選択は、原則として隣接校を選択する仕組みに変更しました。
- ◆中学校・義務教育学校（後期課程）入・進学時の学校選択は、区内全域からの自由選択を継続します。
- ◆制度見直しの影響を軽減するため、兄弟姉妹等の事情に配慮した経過措置を一定期間設けます。

学校選択制の抽選時の受入優先順位

- 無抽選受入れ：入学を希望する学校の通学区域内に居住している方
- 第1順位：入学を希望する学校の隣接する通学区域内に居住している方で、かつ入学を希望する学校に兄弟姉妹が在籍している方（兄弟姉妹優先）
- 第2順位：入学を希望する学校の隣接する通学区域内に居住している方（兄弟姉妹は在籍していない）

※詳細については「抽選について」（16ページ）をご確認ください。

通学区域の一部変更について

小山小学校の通学区域は、再開発により就学人口の急増が見込まれるため、令和2年に小山3丁目全域を後地小学校の通学区域に変更しました。なお、通学区域変更の影響を軽減するため、経過措置を一定期間設けます。

変更にもとなう経過措置について

学校選択制変更（小学校・義務教育学校前期課程）の経過措置

- ▶隣接校選択（11ページの表）への変更後も、旧ブロック選択校（14ページの表）に兄姉が在籍している期間中のみ経過措置期間として、旧ブロック選択校を希望できます。

経過措置期間

○令和元年度までに入学した兄姉が在籍する間（※1）

通学区域（一部）変更の経過措置

【新入生】

- ▶通学区域が変更になった児童（小山3丁目全域にお住いの児童）は、旧通学区域の学校（小山小学校）に兄姉が在籍している期間中のみ経過措置期間として、旧通学区域の学校を希望した場合に、無抽選で入学できます。

経過措置期間

○令和元年度までに入学した兄姉が在籍する間（※1）

【在校生】

- ▶原則として在籍校へ引き続き卒業まで通うものとします。

経過措置の場合の抽選時の受入優先順位

【小学校・義務教育学校（前期課程）】

対 象		抽選時の受入優先順位	経過措置期間
学 校 選 択 制	旧制度（ブロック制）の選択対象校を希望する方	第1順位	令和元年度までに入学した兄姉が在籍する間（※1）
通 学 区 域	旧通学区域の学校を希望する方	無抽選受入	令和元年度までに入学した兄姉が在籍する間（※1）

（※1）来年度入学を希望する学校に令和元年度までに兄または姉が在籍（小学校の場合、現4年生から5年生まで、義務教育学校の場合、現4年生から8年生まで）に在籍している場合を指し、今年度卒業される小学校6年生および義務教育学校9年生は含みません。

○小学校および義務教育学校（前期課程）のうち希望申請できる学校（旧ブロック選択校）
 令和元年度までに入籍した兄弟が在籍している場合のみ申請可能
 （詳しくは13ページをご確認ください）

ブロック	品川・大崎	大井・八潮	荏原西	荏原東
学校名	（下記の学校の 全通学区域） ※城南小学校 浅間台小学校 三木小学校 御殿山小学校 城南第二小学校 第一日野小学校 芳水小学校 第三日野小学校 第四日野小学校 台場小学校 日野学園 品川学園	（下記の学校の 全通学区域） 大井第一小学校 鮫浜小学校 山中小学校 立会小学校 浜川小学校 伊藤小学校 鈴ヶ森小学校 伊藤学園 八潮学園	（下記の学校の 全通学区域） 京陽小学校 延山小学校 中延小学校 小山小学校 第二延山小学校 後地小学校 清水台小学校 小山台小学校 荏原平塚学園	（下記の学校の 全通学区域） 大原小学校 宮前小学校 源氏前小学校 戸越小学校 旗台小学校 上神明小学校 豊葉の杜学園
	（ブロック外で選択 できる義務教育学校） 伊藤学園 八潮学園 荏原平塚学園 豊葉の杜学園	（ブロック外で選択 できる義務教育学校） 日野学園 品川学園 荏原平塚学園 豊葉の杜学園	（ブロック外で選択 できる義務教育学校） 日野学園 品川学園 伊藤学園 八潮学園 豊葉の杜学園	（ブロック外で選択 できる義務教育学校） 日野学園 品川学園 伊藤学園 八潮学園 荏原平塚学園

※城南小学校は、学校選択除外校のため、令和5年度は学校選択の申請ができません。
 なお、城南小学校を選択した場合は、希望申請が無効になります。

学校選択制・通学区域見直しのスケジュール



一貫教育の連携グループの設定

義務教育9年間の一貫教育における「連携グループ」を設定しております。

「連携グループ」は通学区域を共有する1～3校の小学校・義務教育学校（前期課程）と、一つの中学校・義務教育学校（後期課程）とで構成するものです。

これにより、グループ内の学校間の連携を深めながら、9年間の一貫した教育を推進してまいります。

中学校は住所地の通学区域の学校が指定校となります。通学区域外の小学校に在籍していて、その小学校の連携校が通学区域外の中学校である場合、連携している中学校への進学を希望される際は、中学校・義務教育学校（後期課程）の入学の際、学校選択の申請をする必要があります。

ただし、義務教育学校に入学したのち、同じ義務教育学校の7年生（後期課程）に進級を希望したときは、無抽選で進級できます。

なお、選択できる学校以外の学校を希望する場合は、指定校変更の申請が必要となります。詳細は「指定校変更の申請について」（20ページ）をご覧ください。

連携グループ一覧

城南小 浅間台小 城南第二小 東海中	三木小 芳水小 大崎中	鮫浜小 立会小 浜川小 浜川中	鈴ヶ森小 鈴ヶ森中
伊藤小 上神明小 富士見台中	後地小 小山台小 第四日野小 荏原第一中	源氏前小 旗台小 清水台小 荏原第五中	小山小 第二延山小 荏原第六中
京陽小 宮前小 戸越台中	第一日野小 前期課程 第三日野小 日野学園 (後期課程)	大井第一小 前期課程 山中小 伊藤学園 (後期課程)	前期課程 八潮学園 (後期課程)
中延小 前期課程 延山小 荏原平塚学園 (後期課程)	台場小 前期課程 御殿山小 品川学園 (後期課程)	大原小 前期課程 戸越小 豊葉の杜学園 (後期課程)	黒字 ……小学校 水色 ……中学校 青色 ……義務教育学校

抽選について

学校選択の希望申請により受入可能児童数を超えた学校は抽選となります。

抽選方法

抽選は11月下旬から12月上旬に品川区役所内で公開にて行います。抽選対象者に無作為の抽選番号を付し、その番号を郵送であらかじめお知らせした上で、抽選の優先順位ごとに職員が抽選器を使用して決定していきます。

なお、優先順位は以下の表のとおりです。

小学校・義務教育学校 新1年生 抽選の受入優先順位

学校名	無抽選受入	第1順位	第2順位
城南 浅間台 三木 御殿山 城南第二 第一日野 芳水 第三日野 第四日野 台場 日野学園 品川学園 大井第一 鮫浜 山中 立会 浜川 伊藤 鈴ヶ森 伊藤学園 八潮学園 京陽 延山 中延	各小学校・ 義務教育学校(前期課程) 通学区域にお住いの児童		学校選択除外校となります。(※4)
小山 第二延山 後地 清水台 小山台 荏原平塚学園 大原 宮前 源氏前 戸越 旗台 上神明 豊葉の杜学園	・小山小学校通学区域にお住いの児童 ・小山3丁目に居住し、かつ兄または姉(※1)が在籍	兄姉 (※2) が在籍	隣接する通学区域(※3)に お住いの児童

- (※1) 小山3丁目に居住し小山小学校を希望する者で、入学する年度に希望校に令和元年度までに入学した兄または姉が在籍している者は無抽選として扱う。
- (※2) 希望校が学校選択で抽選校となった場合、11ページの「希望選択可能な学校」を希望し、入学する年度に兄姉が希望校に在籍している者は第1順位として扱う。また、14ページの「旧ブロック選択校」を希望し、入学する年度に令和元年度までに入学した兄姉が希望校に在籍している者も第1順位として扱う(経過措置)。
- (※3) 「隣接する通学区域」とは、11ページの「希望選択可能な学校」の通学区域をいう。
- (※4) 城南小学校は学校選択除外校になります。くわしくは6ページをご確認ください。

抽選結果

抽選では、その場で受入れが決まる場合と、その場で受入れができず待機の順番を決め、繰り上がりをお待ちいただく場合があります（「待機者」となります）。

抽選結果は品川区役所第二庁舎7階学務課前に掲示します（土曜日・日曜日・祝日を除く）。

また、抽選日当日の夕方から品川区のホームページにも掲載予定です。

後日、抽選対象者全員に郵送で結果をお知らせします。

学校選択による抽選当選者と待機者の就学指定

12月下旬に就学指定通知書（はがき）を郵送しますが、抽選当選者には希望校を指定し、待機者には住所に基づく通学区域の学校を指定します。

待機者が繰り上がって希望校へ受入れできた場合は、学務課で就学する学校を再指定し、就学指定通知書（はがき）を郵送します。

待機の繰上げについて

品川区外への転出や国公立小学校への入学により、抽選した小学校・義務教育学校の入学に辞退者が出ると、順次待機者を繰上げていきます。

待機者の繰上げは1月中旬頃から始まり、連絡は電話にて行います。ご不在でも待機の順位が変わることはありません。

繰上げ最終期限

繰上げの最終期限は、令和5年1月31日（火曜日）です。繰上げ最終期限をもって、令和5年度新1年生の学校選択は終了となります。これ以降繰上げ連絡することはございません。繰上最終日までに、繰上げの連絡がなかった場合、就学指定された通学区域の学校に入学することになります。



就学指定通知書の発送について

12月下旬に入学する学校を指定した「就学指定通知書」(はがき)を郵送します。
2月に学校で開催される入学説明会で、就学指定通知書(はがき)を学校にご提出いただくことで入学が確定します。※提出が必要になりますので、紛失しないようご注意ください。
入学説明会の日程で都合がつかないなどのご事情があれば、学校に直接ご相談ください。



区内転居・区外転出・海外転出を予定される場合

品川区立小学校・義務教育学校に入学できるのは、原則として、来春入学時に品川区内に住民登録がある方です。

また、学校選択をご利用いただけるのは、令和4年10月31日現在品川区に住民登録がある方です。

区内転居の予定がある場合は、転居の時期により手続き異なります。

- ・学校希望申請締切日(10月31日)までに転居する方
→22ページをご参照ください。
- ・学校希望申請期間後(11月以降)に転居する方
→23ページをご参照ください。

区外転出・海外転出される方は、学務課までご連絡ください。

区外に転出される方は、品川区立小学校・義務教育学校へは入学できません。それに伴い、学校選択による希望がある場合についても無効とさせていただきます。住民票の異動が完了するまでの間は、新入学に関するお知らせが届きますがご了承ください。

また、転出先の新入学手続きに関しては、転出先の教育委員会へお問い合わせください。



国公立私立小学校に就学される場合

国公立私立小学校に入学することが決まった方は、入学する小学校から「**入学を許可する旨の書類**(以下「**入学許可書**」という。)」が交付されますので、電話番号をご記入の上、速やかに**原本**を学務課にご提出ください(郵送可)。

学務課が12月下旬に郵送する**就学指定通知書(はがき)**も併せてご提出ください。
以下の期限以降に「**入学許可書**」が交付される方は、交付を受け次第ご提出ください。

提出期限 令和5年1月13日(金曜日)

提出先 〒140-8715 品川区広町2丁目1番36号

品川区教育委員会事務局 学務課 学事係(品川区役所第二庁舎7階)

特に、抽選となった学校では、待機となり繰上げ入学を待っている方がいらっしゃいますので、速やかにご提出をお願いします。

ご提出がない場合は問合せなどをさせていただくことがあります。



就学相談 ～児童の成長のことで気になることはありませんか～

就学にあたり発達などのことで心配や不安のある方の相談を行っています。

一人一人の児童がもつ可能性を十分に生かし伸ばしていくために保護者の皆様と話し合っ、適切な学びの場を決めていきます。

【相談受付および問合せ先】

品川区立教育総合支援センター 特別支援教育係

品川区西五反田6丁目5番1号 教育文化会館4階

電話 03-5740-8202（午前9時から午後5時まで。土曜日・日曜日・祝日を除く。）



外国籍の方の品川区立小学校・義務教育学校への入学について

外国籍の児童が品川区立小学校・義務教育学校に入学を希望する場合は、在留カードなどをご持参の上、学務課で申込手続きが必要です。詳しくは学務課へお問い合わせください。

★日本語習得について支援が必要な方へ

日本語の習得に支援が必要な方に日本語教育を実施しています。

教室は山中小学校（品川区大井3丁目7番19号）にあり、学年、能力などに応じて、必要な期間、入学した学校から通って授業を受けます。申込は入学後、学校を通して行います。



外国人学校（インターナショナルスクールなど）に就学される場合

外国人学校（インターナショナルスクールなど）に入学される方は、前ページの「国公立小学校に就学される場合」と同様の方法により、学務課へ「入学許可証」をご提出ください。

日本国籍を有している児童は学校教育法第1条に規定する学校に通うこととされています。学校教育法第1条に規定されていない外国人学校を修了しても、小学校等の課程を修了したことにはなりません。

国公立中学校・義務教育学校（後期課程）の入学は、小学校・義務教育学校（前期課程）の課程を修了した児童に限られるため、インターナショナルスクールの小学部などを修了した児童が、国公立中学校・義務教育学校（後期課程）の入学することはできません。ご了承ください。

重国籍の方は、就学猶予・免除が認められる場合があります。詳細は、学務課までお問い合わせください。



就学に必要な費用の援助について（就学援助費）

公立小学校・義務教育学校に通学する児童の就学に必要な費用（給食費、学用品、遠足代など）を援助します。入学校で4月に就学援助の申請書を配布しますので、学務課にご提出ください。

所得制限が設けられており、認定された場合は、学期末ごとに年3回の支給があります。



指定校変更の申請について

入学する学校の指定は、お住まいの住所に基づき品川区教育委員会が行います。

ただし、選択できる学校以外の学校を希望されるなど、就学指定された学校とは異なる学校を希望する場合は、その理由を付し、指定校変更の申請をしてください。その申請に基づき、指定校変更許可基準（67ページをご参照ください。）に沿って審査します。

（※学校の状況によっては、受入れができない場合があります。）

申請期間 令和5年1月5日（木曜日）から入学まで随時受付

申請先 品川区教育委員会事務局 学務課 学事係（品川区役所第二庁舎7階）

申請書に申請理由をご記入いただきますが、あらかじめ、ご用意いただいた理由書（書式自由）を添付することもできます。

理由書の様式は品川区のホームページにもありますので、ご活用ください。

申請は窓口のみの受付となり、郵送での受付は行っておりません。

※就学指定通知書（はがき）を必ずお持ちください。

結果通知 申請書をご提出いただいてから約1か月後に結果を郵送します。

ただし、抽選の繰上げ状況によっては1か月以上かかる場合があります。



指定校変更をご利用いただくにあたって

学校選択で抽選となった学校で、待機者がいる、または、待機者が全員繰り上がらなかった学校は、受入可能児童数を超えて入学予定者がいる状態なので、指定校変更の申請があっても入学は原則として認めておりません。

学校選択で待機となっている方が指定校変更を申請する場合は、待機を辞退したこととなります。

実態のない住民票の異動による入学は認めません

希望校に入学させたいための、実態を伴わない住民票の異動（例：主に生活する場所と住民票が異なる場合など）は行わないでください。

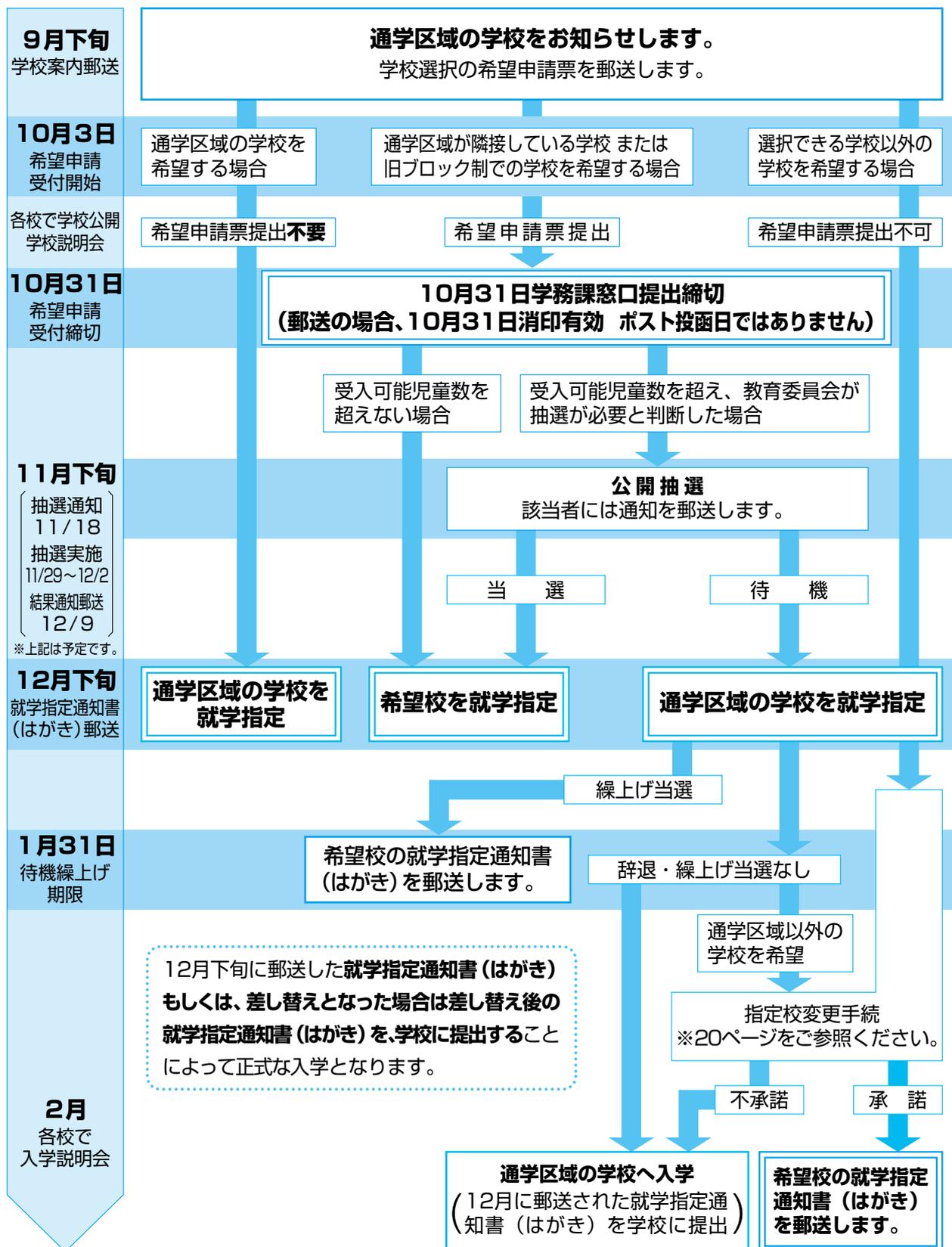
不適正な住民票の異動は、法令違反であるばかりでなく、義務教育の正常な運営を阻害する要因となるものであり、そのようなことが判明したり、疑義が生じた場合、品川区教育委員会では必要に応じて実態調査を行うなど厳正な対応を行っております。

虚偽の届出と判断した場合は、就学指定を取り消します。その場合は、主に生活する住所の通学区域の学校へ就学指定し直しますので、予めご了承ください。

また入学後、そのようなことが判明した場合、本来の通学区域の学校へ転校していただきます。

保護者の皆様におかれましては、適正な就学事務にご理解・ご協力をお願いします。

入学校決定までの流れ



- * 待機中や国公立小学校の合否発表待ちの方は、入学校が決定するまで就学指定通知書(はがき)を保管し、品川区立小学校・義務教育学校へ入学が決定した時点で、就学指定通知書(はがき)を学校にご提出ください。
- * 就学指定通知書(はがき)を紛失しないようご注意ください。
- * 国公立小学校に入学が決定した方は、入学許可書と就学指定通知書(はがき)を学務課にご提出ください。

学校希望申請締切日（10月31日）までに転居する場合

10月31日までの区内転居 ＝希望申請票で手続きができます＝

～希望申請票を確認～

- ◎ 希望申請票に記載してある、**通学区域の学校**をご確認ください。
- ◎ 入学希望の学校によって手順が異なります。
下記に従って手続きしてください。

【例】

転居前
通学区域の学校
→京陽小学校

↓

転居後
通学区域の学校
→大原小学校

① 通学区域の学校「京陽小学校」へ入学希望

⇒希望申請票の提出の必要はありません。

② 通学区域の学校「京陽小学校」以外の
隣接する学校(旧ブロック制含む)へ入学希望

⇒希望申請票の余白部分に「転居先住所・転居日」を記入し、
希望選択する学校1つに○をつけてください。

③ 転居先の通学区域の学校「大原小学校」へ入学希望

⇒希望申請票の余白部分に「転居先住所・転居日」と「転居
先の通学区域の学校」をご記入ください。

④ 転居先の通学区域の学校「大原小学校」以外の
隣接する学校(旧ブロック制含む)に入学希望

⇒希望申請票の余白部分に「転居先住所・転居日」と「希望
選択する学校」をご記入ください。

下記の注意事項を
ご確認の上、**希望
申請票**を学務課
まで希望申請受付
期間内に、**ご提出
ください。**

※ ②・④は希望校が抽選になった場合、ご希望に沿えない場合があります。

※ ③・④は住民登録の異動の手続きが完了しない場合および実際の居住地と異なる場合は、当該希望申請票は無効となります。

△ 注意事項 △

住民票の異動の事実については、住民票などの提出は必要ありませんが、後日、**居住実態の確認**などのために「転居先の住所と入居可能日とが確認できるものの原本（賃貸借契約書、建物の工事請負契約書など）」を確認させていただく場合があります。その際は、学務課よりご連絡させていただきますので、ご協力をお願いします。

学校希望申請期間後（11月以降）に転居する場合

11月1日から入学までに区内転居

＝ 1月上旬に開始する「指定校変更の申請」の手続（※1）が必要です＝
就学指定通知書（はがき）に記載してある就学指定校を確認してください。

○ 就学指定通知書（はがき）

～就学指定通知書（はがき）を確認～

◎住民登録されている住所に12月下旬、就学指定通知書（はがき）を郵送します。そこに記載されている学校をご確認ください。

（記載されている就学指定校は、転居前の通学区域の学校、または、学校選択し、入学が認められた学校です。）

◎就学指定通知書（はがき）が12月下旬に届きましたら、下記に従って手続をしてください。

【例】

就学指定通知書（学校提出用）	
入学説明会の時に、この用紙を切り取り、（ ）内をご記入のうえご持参ください。 令和5年4月1日付で入学される区立小学校・義務教育学校について、下記のとおりお知らせします。	
入学指定校：京陽小学校	
住 所	
児 童 名	
保護者名	

【例】

転居前
通学区域の学校
→京陽小学校
↓
転居後
通学区域の学校
→大原小学校

変更などがあった場合にご記入ください。

就学指定校「京陽小学校」へ入学希望

⇒手続の必要はありません。就学指定通知書（はがき）に転居先の住所などを記入して、学校にご提出ください。

転居先の通学区域の学校「大原小学校」へ入学希望

⇒就学指定通知書（はがき）および転居先の住所と入居可能日が確認できるものの原本（※2）を持参の上、学務課で指定校変更の手続（※1）を行ってください。

就学指定校「京陽小学校」および、 転居先の通学区域の学校「大原小学校」以外の学校へ入学希望

⇒就学指定通知書（はがき）を持参の上、学務課で指定校変更の手続（※1）を行ってください。通常の指定校変更と同じになりますので、希望する学校の状況によってはご希望に添えない場合があります。

※1：指定校変更の手続は20ページをご参照ください。

※2：賃貸借契約書、建物の工事請負契約書など。

❖ 学校選択Q&A

Q.1 学校選択で選べる学校はどこですか？

A.1 学区の学校と通学区域が隣り合っている（隣接している）学校をお選びいただけます（詳しくは11ページをご覧ください）。
なお、希望申請いただける学校は1校のみです。

Q.2 希望申請票は必ず提出しなければなりませんか？

A.2 通学区域の学校へ入学を希望される場合は、提出は不要です。
通学区域外の学校へ入学を希望される場合は、提出が必要です。

Q.3 選択できる学校以外に入学を希望することができますか？

A.3 学校選択制度は、通学区域が隣り合っている（隣接している）学校を1校選択できますが、それ以外の学校を選択することはできません。
ただし、許可基準に該当すれば指定校変更により認められる場合があります（詳しくは20・67ページをご参照ください）。

Q.4 10月に転居予定（区内）ですが、現在（転居前）選択できる学校以外を希望することはできますか？

A.4 10月中に選択できる学校以外の学区域へ転居予定であれば、転居先の通学区域を含む選択できる学校を希望することは可能です。希望申請票の余白に希望する学校、転居先住所および転居日をご記入ください。
ただし、10月中に転居が確認できない場合は無効となりますのでご注意ください。（22ページをご参照ください）。

Q.5 学校選択を希望して、希望校で就学指定通知を受けましたが、やはり通学区域の指定校に行きたくなりました。どうすればいいですか？

A.5 就学指定校を変更する必要があります。学務課および指定済みの学校に至急ご連絡の上、学務課にて変更の手続きをしてください。
学校選択制度は、通学区域の児童を受入れた後に、受入可能児童数に余裕があれば通学区域外から児童を受け入れる制度です。この場合、既に通学区域外から児童を受け入れております。場合によっては、学校の学級編制にも影響が生じる可能性があるため、学校選択を希望される場合は、よく検討いただき、慎重に行っていただきますようお願い申し上げます。

抽選Q&A

Q.6 抽選校や抽選日はどのように決定され、また、知ることができますか？

A.6 学校選択の結果、希望者が多く、受入可能児童数を超えている学校が抽選対象となります。抽選対象者には学務課から11月18日にお知らせを郵送する予定です(品川区のホームページにも抽選校を掲載する予定です)。
抽選日などのスケジュールは21ページをご参照ください。

Q.7 抽選会場に行かないと不利になってしまうのでしょうか？

A.7 不利になることは一切ありません。
抽選は品川区役所内で公開にて実施します。会場に来られた方の中から立会いをお願いし、抽選を行います。抽選会場はどなたでも入場できるようになっており、来場された方の出欠も確認しておりません。

Q.8 待機の繰り上がりは例年いつ頃が多いのでしょうか？

A.8 例年、1月中旬から下旬に繰り上がりが多い傾向にあります。その理由としては、この頃に国公立小学校の入学試験に合格された方が、当該学校の入学に係る事務手続を終え、区立小学校辞退の書類を提出されるため、この時期に多くの辞退者が出るものと考えられます。

Q.9 抽選の待機中ですが、繰上げの最新状況を知るにはどうしたらいいですか？

A.9 学務課前(第二庁舎7階)に繰上げの最新状況を掲示しております。

Q.10 抽選待機中ですが、待機中の学校の入学説明会に参加できますか？

A.10 事前に待機中の学校にその旨をお伝えいただいた上で、入学説明会にご参加いただけます。

❖ 義務教育学校Q&A

Q.11 同じ学校で前期課程（1～6年生）から後期課程（7～9年生）に進級する場合、手続は必要ですか？

A.11 就学に関する新たな手続は必要ありません。

Q.12 前期課程修了時（6年生修了時）に他の学校を選択できますか？

A.12 学校選択制を利用して、全ての品川区立中学校・義務教育学校の中から希望する学校を1校選択することができます（希望者が多い場合、抽選となる場合があります。）。

Q.13 7年生から義務教育学校に入れますか？

A.13 他の中学校と同様に入学は可能です。

Q.14 小学校と義務教育学校（前期過程）では、学校生活は変わるのですか？

A.14 基本的な学校生活は変わりません。

Q.15 義務教育学校では、6年生の卒業式はどうなるのですか？

A.15 6年生時には卒業とはならず「前期課程の修了」となり、節目となる行事などを実施します。

Q.16 6年生の卒業証書はどうなるのですか？

A.16 前期課程修了証書を発行します。
義務教育学校の修業年限は9年で、9年生を修了した時点で卒業となるため、6年生修了時においては卒業とはならず、前期課程修了になります。

❖ その他

Q.17 見学したい学校公開の日程が重複しているのですが、どうすればよいですか？

A.17 希望申請期間中に実施している学校公開以外にも、各学校がそれぞれ学校公開を行っている場合があります。各学校に直接お問い合わせください。

Q.18 入学を希望した学校の健康診断日に行けないのですが、どうすればよいですか？

A.18 就学時健康診断は原則学区の学校で受けていただきます。しかし、その日程でご参加いただけない場合には、別紙「令和5年度新入学予定者就学時健康診断実施日一覧」をご覧ください。準備の都合上5日前までに直接受診を希望する学校へご連絡ください。その際、本来受診予定だった学校にも、行けなくなった旨のご連絡を必ずしてください。

また、就学時健康診断が受けられない場合には、入学予定の学校に直接お問い合わせの上、お子様の健康状態に注意し、気になる症状がある場合にはかかりつけ医等を受診してください。

なお、健康診断日の変更に関わる学務課へのご連絡は不要です。

Q.19 品川区から転出することが決まりましたが、品川区立の学校関係で手続きは必要ですか？

A.19 必要です。

転出することが確定した時点で、学務課および品川区の就学予定の学校に連絡していただく必要があります。また転出先の教育委員会、学校にも連絡いただくとスムーズです。

また、転出時期によって健康診断を受ける場所が異なりますので、以下をご参照ください。

転出が健康診断日より前の場合：転出先の区市町村の教育委員会にお問い合わせください。

転出が健康診断日以降の場合：品川区で健康診断を受けてください（実施時期は同封別紙のとおり）。

診断結果は品川区から転出先の学校に送付します。

Q.20 就学指定通知書を紛失しました。再発行できますか？

A.20 就学指定通知書は学校に渡すことで入学が確定する、非常に重要な書類となります。そのため、提出まで紛失しないよう**大切に**保管してください。

万一紛失してしまった場合には、学務課へご連絡いただき、再発行の申請を行ってください。その後、学務課窓口にて本人確認させていただいた上でお渡しいたします。※窓口にいらっしゃる方の本人確認書類をお持ちください。

令和5年度 各学校の新入学受入可能児童数・学級数

新入学の受入可能児童数については、住民基本台帳を基に、学校規模や過去の学校選択での入学実績および卒業までの転入生等を考慮し決定しております。

近年の就学人口の増加に伴い、通学区域外からの希望申請が受入可能児童数より多くなった場合、受入れできないことがございますので、ご了承ください。なお、通学区域内の学校への入学は受入枠にかかわらず、全員入れるため、学級数が増える可能性もございます。

令和4年度に通学区域外からの希望申請が受入可能児童数より多く抽選になり、**1人も受け入れできなかった学校は次のとおりです。**

城南小 御殿山小 芳水小 山中小 浜川小 京陽小 小山小 源氏前小 第二延山小

	学校名 ★…令和4年度に抽選が行われた学校	令和4年度		令和4年度 実績			令和5年度 小学校・義務教育学校 新入学受入可能児童数・学級数	
		学 区 人 数 (R3 10/1)	入 学 者 数 (4/7)※1	令和4年度抽選結果			令和5年度	
				受 入	辞 退 ※2	入 学 不 可	受入可能 学級数	受入可能 児童数
品川・大崎ブロック(旧)	★城南小学校	165	140	0	2	14	学校選択除外校	
	浅間台小学校	47	32	-	-	-	2	60
	三木小学校	83	69	-	-	-	3	95
	★御殿山小学校	143	122	0	3	7	3	95
	★城南第二小学校	127	83	5	4	0	3	95
	★第一日野小学校	97	89	10	1	24	3	95
	★芳水小学校	161	131	0	1	17	4	130
	★第三日野小学校	149	130	4	5	0	4	130
	★第四日野小学校	112	89	6	0	0	3	95
	★台場小学校	67	65	20	5	3	2	60
	★日野学園	75	77	12	6	0	3	95
	★品川学園	83	126	12	8	0	4	130
大井・八潮ブロック(旧)	★大井第一小学校	127	129	5	3	11	4	130
	★鮫浜小学校	106	96	6	1	20	3	95
	★山中小学校	102	83	0	0	3	2	60
	★立会小学校	102	94	1	4	8	3	95
	★浜川小学校	246	169	0	2	2	4	130
	★伊藤小学校	91	92	10	0	0	3	95
	鈴ヶ森小学校	116	109	-	-	-	4	130
	★伊藤学園	100	92	10	2	10	3	95
	★八潮学園	81	133	8	1	15	3	95
荏原西ブロック(旧)	★京陽小学校	73	68	0	4	11	3	95
	延山小学校	82	84	-	-	-	3	95
	中延小学校	56	17	-	-	-	2	60
	★小山小学校	79	70	0	0	15	2	60
	★第二延山小学校	102	101	0	2	8	3	95
	★後地小学校	99	87	8	1	4	3	95
	清水台小学校	57	51	-	-	-	2	60
	小山台小学校	46	47	-	-	-	2	60
荏原平塚学園	54	74	-	-	-	3	95	

※1 入学者数と学区人数の差は、学校選択、国公立小学校入学または転入出によります。

※2 国公立小学校入学、区外転出などで待機を辞退された方

令和5年度
小学校・義務教育学校
新入生受入可能児童数・学級数

令和4年度 実績

学校名 ★…令和4年度に抽選が行われた学校	令和4年度		令和4年度抽選結果			令和5年度		
	学区人数 (R3 10/1)	入学者数 (4/7)※1	受入	辞退 ※2	入学不可	受入可能学級数	受入可能児童数	
荏原東ブロック(旧)	大原小学校	35	42	-	-	-	2	60
	宮前小学校	68	67	9	0	0	2	60
	源氏前小学校	75	61	0	3	17	2	60
	戸越小学校	58	66	-	-	-	3	95
	旗台小学校	53	50	-	-	-	2	60
	上神明小学校	58	49	-	-	-	2	60
	★豊葉の杜学園	93	97	4	12	44	3	95
計	3468	3181	130	70	233	106	3340	

※1 入学者数と学区人数の差は、学校選択、国公立小学校入学または転入出によります。

※2 国公立小学校入学、区外転出などで待機を辞退された方

中学校・義務教育学校（後期課程）の新入生受入可能生徒数・学級数を参考に掲載いたします。

中学校・義務教育学校（後期課程）の通学区域は70ページをご参照ください。

令和5年度
中学校・義務教育学校
新入生受入可能生徒数・学級数

令和4年度 実績

学校名 ★…令和4年度に抽選が行われた学校	令和4年度		令和4年度抽選結果			令和5年度	
	学区人数 (R3 10/1)	入学者数 (4/7)※1	受入	辞退 ※2	入学不可	受入可能学級数	受入可能生徒数
★東海中学校	243	117	17	8	0	4	145
大崎中学校	186	72	-	-	-	3	105
浜川中学校	263	108	-	-	-	4	145
鈴ヶ森中学校	74	115	-	-	-	5	185
富士見台中学校	121	79	-	-	-	3	105
★荏原第一中学校	195	159	51	23	0	5	185
荏原第五中学校	164	126	-	-	-	4	145
★荏原第六中学校	204	106	16	10	9	3	105
★戸越台中学校	109	87	23	28	0	3	105
★日野学園	259	145	20	45	19	4	145
伊藤学園	292	121	-	-	-	5	185
八潮学園	76	86	-	-	-	4	145
荏原平塚学園	158	87	-	-	-	4	145
★品川学園	246	108	8	21	0	4	145
★豊葉の杜学園	176	148	26	35	10	4	145
計	2766	1664	161	170	38	59	2135

※1 入学者数と学区人数の差は、学校選択、国公立中学校入学または転入出によります。

※2 国公立中学校入学、区外転出などで待機を辞退された方

※3 それぞれの中学校・義務教育学校（後期課程）は小学校・義務教育学校（前期課程）と連携しております（15ページをご参照ください）。

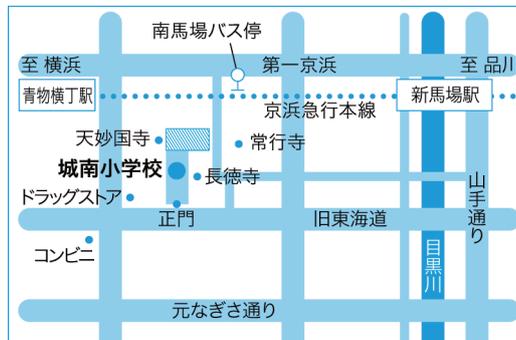
しかし、連携している小学校にご入学しても、通学区域外の連携している中学校もしくは義務教育学校（後期課程）にそのまま入ることはできません。通学区域外の連携している中学校・義務教育学校への入学を希望される場合は、進学時に学校希望選択の申請が必要となります。

城南小学校

連携グループ 浅間台小学校・城南第二小学校・東海中学校



校長	宮崎 朋子		
所在地	品川区南品川2-8-21		
TEL	3471-7919	FAX	3471-7998
URL	https://school.cts.ne.jp/jonan/		
アクセス	京浜急行本線「新馬場」駅下車 徒歩7分 「青物横丁」駅下車 徒歩5分		



○学力・体力向上○

- ◆帯学習（15分間学習）の充実
 - *4・5・6年 13:00～13:15
 - 1・2・3年 13:35～13:50
 サントレ（言葉の教育プログラム）、暗誦、視写、作文、文法、漢字、算数や理科の基礎を身に付ける学習をしています。
- ◆朝読書
 - *読書への興味関心を高めるとともに、学習に集中して取り組むようにしています。また、教室の読書環境を整えています。
- ◆ICTの活用
 - *一人一台タブレットを日常的に使い、タブレットを通して交流活動も行っています。
- ◆運動習慣の日常化
 - *体力向上月間の設定、スポーツトライアルやワンミニッツエクササイズ、テクニカルアドバイザーの活用を通し、運動に積極的に親しませています。
- ◆地域未来塾
 - *学年ごとの放課後の補習学習です。品川コミュニティ・スクールの取組みの一つです。英語検定対策も行っています。

○体験的な学習（例年の取組）○

- ◆SDGsを意識した学級園や公園での自然観察、東海道歴史探訪、名所旧跡や商店街見学、企業との連携授業など、体験的な活動を多く取り入れています。
- ◆コミュニティ・スクールとして、地域の方々から学び、また、地域のことを知り愛着をもつ学習を進めています。（江戸切子・切込細工・おはやし）
- ◆1年生～6年生の縦割班で縦割清掃を実施しています。

○東海グループでの一貫教育○

*東海中・城南小・城南第二小・浅間台小が東海グループとして、一貫教育を推進しています。

【教育目標】

「自分に自信をもち、常に礼儀正しく、高い志をもって挑戦できる生徒（義務教育終了時のあるべき姿）」

- ◆前期 1～4年生「自立した生活と態度」の形成
- ◆中期 5～7年生「社会的な判断と責任ある行動」の伸長
- ◆後期 8・9年生「将来を切り拓く意志と知恵」の向上

*東海グループによる指導法の研究

「児童生徒の思考を促し育てる授業の構築
～授業内コミュニケーションと指導行動の改善～」
同じ地域の学校で指導方法をそろえることで地域の学力を高めます。

【具体的な取組】

- ◆小小交流で、3校の4年生が交流
- ◆教科部による授業実践、系統的な教育を推進
- ◆児童・生徒会が協力して行うボランティア活動

○国際理解教育○

- ◆東京2020レガシーワード校の指定を受け、豊かな国際感覚を身に付けられるようにします。
- ◆日本の伝統文化の良さを味わい、英語で発信する態度・能力を育てます。（能体験、オーストラリアとのオンライン交流）
- ◆4年生が東京グローバルゲートウェイに行き、英語で半日を過ごします。



○地域と交流○

- ◆城南幼稚園と交流をしています。児童が準備し、秋のお店屋さんごっこや学校ごっこを幼児と行っています。
- ◆品川特別支援学校や福栄会と交流し、相互理解を図っています。
- ◆近隣の企業等の協力を得て、6年生が「ドリームジョブ」で様々な分野の職業について学び、自分の将来について考える機会をつくっています。

○学校について○

- ◆明治7年に開校しました。今年で148周年を迎えます。
- ◆学級数20。児童数651名。教職員59名。
- ◆城南幼稚園が同じ敷地内にあり、スクールステイ事業を実施しています。
- ◆卒業生のみならず、広く地域の皆様が加盟する「校友会」に支えられています。



お祭りごっこ：

地域のお祭りに合わせて、お祭りごっこを行っています。城南幼稚園児と1・2年生が、地域の方の大拍子に合わせて旧東海道を練り歩きます。

旧東海道歴史探訪：

6年生が、地域の名所旧跡を訪問し、歴史や地理を学びます。保護者や地域の方がタイムスリップした世界を作ります。

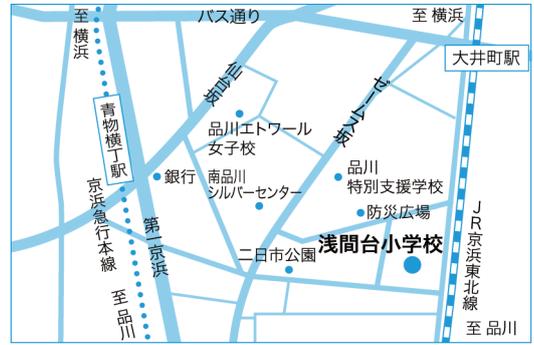


浅間台小学校

連携グループ 城南小学校・城南第二小学校・東海中学校



校長 高橋 健一
 所在地 品川区南品川6-8-8
 TEL 3474-2727 FAX 3474-2756
 URL <https://school.cts.ne.jp/asamadai/>
 アクセス JR京浜東北線・りんかい線・東急大井町線
 「大井町」駅下車 徒歩7分
 京浜急行本線「青物横丁」駅下車 徒歩10分



言語能力の育成を重視した浅間台小の教育 ～コミュニケーション能力の向上を目指して～

コミュニケーション能力の
 向上によって育まれる
5つの力



浅間台小の主な教育活動

【確かな学力】

＜表現活動・言語活動の充実＞ ＜基礎・基本の定着・徹底＞

- 日常的に名文に親しむ機会を設けるとともに、暗唱にも力を入れていきます。年度末には、全校で暗唱発表会を実施します。
- 言葉のトレーニング(1・2年)、朝読書(3～6年)、学校図書館教育などを通して言語能力の向上を図ります。
- 少人数・習熟度別の学習、土曜日の習熟学習、放課後・夏季休業中の補習で基礎・基本の定着・徹底をします。
- ICT機器を効果的に活用した授業を推進するとともに、オンライン授業に関する実践を深めていきます。
- 英語専科指導員(ALT・JTE)と共に、英語教育を推進します。

【豊かな心・開かれた学校】

＜規律ある行動・生活・安心安全な学校＞

- たてわり活動(遊びなど)を通して、集団生活のルールやマナーを学びます。
- 複数の教員で見守る学校体制を整え、きめ細やかな指導を行います。また、特別支援教育の充実を図り、個に応じた指導を行っています。
- 保幼小中交流を通して、豊かな心を育みます。

＜潤いのある学校＞ ＜外部との連携の強化＞

- 保護者・地域との連携を密にするとともに学校公開等、地域に開く行事を通して潤いのある学校にしています。
- 品川コミュニティ・スクールとして地域や保護者の意見を生かした学校改善を行います。また、地域の方々による出前授業などを通して外部との連携を図っていきます。

【東海グループ(浅間台小・城南小・城南第二小・東海中)】

＜目標＞

- 「自分に自信をもち、常に礼儀正しく、高い志をもって挑戦できる。」
 自立した生活と態度(1～4年) 社会的な判断と責任ある行動(5～7年) 将来を切り拓く意志と知恵(8・9年)

＜東海グループの取組＞

- 共通した学習指導基準と生活指導基準
- 地域清掃(クリーンレンジャー)
- 中学校部活体験
- 合同での児童・生徒会活動 など



校長	白倉 直明
所在地	品川区西品川3-16-28
TEL	3491-0404 FAX 3491-7641
URL	https://school.cts.ne.jp/mitsugi/
アクセス	JR各線「大崎」駅下車 徒歩 8分 東急大井町線「下神明」駅下車 徒歩 13分



◎教育理念

よさを発揮し、自ら考え行動できる子ども
地域に貢献できる子ども

◎教育目標

自ら学ぶ子 心豊かな子 健康な子

○自ら学ぶ子

- ・「知りたい・やってみたい・伝えたい」授業の展開
子どもの学習意欲を育てます。
- ・「学年担任制」を生かした指導
算数の習熟度別学習や一部教科担任制を導入し、学年担任制を生かした指導を行っています。
- ・古典の暗唱指導
日本語の美しさやリズム感を学び、全校朝会や暗唱発表会で成果を発表します。
- ・「読書活動」の充実
読書に親しむ子どもを育てるとともに、話し合う力を育てます。
- ・英語教育の推進
英語を聞く、話す力を育てます。
- ・基礎基本の定着
朝の15分の学習で国語・算数の基礎基本の定着に取り組んでいます。



暗唱発表会

○健康な子

- ・歯磨き指導
歯磨き指導を通して、自らの健康を考える子どもを育てています。(現在は感染症対策のため停止中)
- ・体力向上にかかわる取組み
「なわとび旬間」「スポーツトライアル」等全校で体力向上に取り組んでいます。
- ・楽しい給食
セレクト給食等を実施し、食に対する関心を高めています。

○心豊かな子

- ・当たり前のことが当たり前に行える子ども
「先にあいさつ」「くつをそろえる」「ヘルメットをかぶらなければ自転車に乗らない」等を指導し、落ち着いた学校生活が送れるようにしています。
- ・異学年活動「なかよし班」
異学年活動「なかよし班」を通して高学年のリーダーシップを育てるとともに、集団の一員としての自覚を高め、豊かな人間関係を育てています。
- ・地域との交流
「赤ちゃんふれあい体験」「トット文化館との交流」「地域参加型運動会」等の活動を通して人とのよりよいかかわり方や地域社会の一員としての自覚を育てています。



なかよし班での清掃の様子

○三木コミュニティ・スクールとしての活動

「こいのぼりあげ」「夏休み体験クラブ」等の活動を同窓会や地域ボランティアの方が支えてくださっています。



御殿山小学校

4

連携グループ 台場小学校・品川学園（前期課程・後期課程）



校長 齋藤 早苗
 所在地 品川区北品川5-2-6
 TEL 3441-0814 FAX 3441-0748
 URL <https://school.cts.ne.jp/gottenyam/>
 アクセス JR各線「大崎」駅下車 徒歩7分
 「五反田」駅下車 徒歩10分



知性に溢れた 明るく美しく 品格のある学校づくり — 家庭・地域・学校で、ともに育てる —

教育目標

- ◎やさしく ◎かしこく ◎たくましく

○礼儀と生活規律、豊かな情操の形成

—豊かな人間関係を築き、礼節を重視する社会性・人間性を基盤とした自律を目指す—

○自分から学ぶ姿勢の確立

—どのような課題でも自力解決できる意欲と学力を身に付け、学ぶ楽しさ、大切さを心得た自学を目指す—

○強い心と体を養う

—自信をもち、常に努力できるたくましさをもつ精神的・身体的な強さを基盤とした自立を目指す—

言葉と心を大切に

『御殿山の子として、誇りと自信をもつ』

そんな子どもであってほしい

○優しさと厳しさのある温かく質の高い教育

基礎学力の向上とともに、自分の思いや考えをもち、人と共に生きる、自然と共に生きるための資質と能力の育成を目指します。人や自然を慈しむ謙虚さと、人としての品格を子どもたちの心に刻みます。

○家庭や地域とともに歩む学校づくり

家庭や地域の方々との対話を大切にして信頼関係を築き、家庭や地域とともに高まり、歩む学校を目指します。学校でできることには限りがあります。多くの人とのかかわりの中で、子どもはより豊かに成長します。



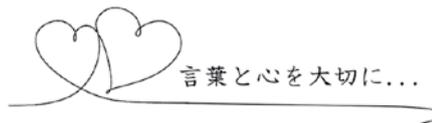
校舎は平成27年に全面改築が完了し、明るく開放的で、エコスクールとしての近代的な設備も整っています。エコスクールとは、「環境のことを考えてつくられた学校」のことです。現在、地球温暖化などの環境問題への対策が重要となっています。自然エネルギーを使い環境学習を推進するとともに、エコ意識を育てていきます。



風力や太陽光により蓄電した電気の活用



校内のエコを可視化する「見える化モニター」



図書スタッフを活用した読書指導



児童の主体的な活動を大切にしたいごてんやま祭り



英語教育では6年生で青山学院大学アレン玉井光江教授による授業を展開し、先進的な英語教育を追求します。



『よきリーダーを育てる』ために、6年生が全校朝会で毎週スピーチを行っています。

城南第二小学校

連携グループ 城南小学校・浅間台小学校・東海中学校



校長 森嶋 尚子
 所在地 品川区東品川3-4-5
 TEL 3471-7481 FAX 3471-7442
 URL <https://school.cts.ne.jp/jyonan2/>
 アクセス 京浜急行本線「新馬場」駅下車 徒歩7分



主体的・相互的・継続的に学び続ける子どもを育てる

変化の速い社会にあって、継続的に学び、問題に主体的に関わり、解決に向けて挑み続ける力を育むことが重要な課題となっています。

人やもの・事柄に自ら関わっていく主体性と相互理解に基づく対話力を育て、一人ひとりの伸びようとする力を引き出します。



一貫教育

☆東海グループ（東海中・城南第二小・城南小・浅間台小）

- 合同遠足：3小学校の4年生が合同で遠足に行き、交流を深めます。
- 教科部会：小中合同で7年生の学力を分析し、研究授業や共通の指導を行うことで、中学校入学時におけるギャップ解消に努めています。
- 生活指導：東海グループの基準を基に、共通した指導を行っています。
- 連携交流：児童・生徒会が中心となり、地域清掃（クリーンレンジャー）を行っています。



子どもの「認知」に着目した授業づくり

- 児童の分かり方に沿った授業づくりを目指します。
- どの児童にも分かりやすい授業を目指します。
- 身に付けた知識やスキルを引きだし、新たな知識・スキルをつなげる授業を目指します。
- 教職員は確かな存在として、子どもとの信頼関係を築き、指導にあたります。
- 積極的に企業や団体の出前授業を招致し、将来への展望を創造させる教育を受けさせます。

地域に根ざした学習

地域の「教材」を系統的に学んでいきます。

- 1年…品川カブの育成
- 2年…地域のおまつり・おみこし
- 3年…旧東海道 まち歩き
- 4年…東海G小交流活動
- 5年…旧東海道の歴史と文化
- 6年…地域に根ざした職場体験



地域との連携

○東海道駅伝



- 品川ふるさとかるた大会
- ドッジボール大会
- 職場体験・まち歩き・環境学習など
- 地域スポーツ活動

PTA・父親の会

- 水遊び大会
- 城二フェスティバル
- 焼き芋大会
- バーベキュー大会
- 学校周辺の清掃など奉仕活動



保護者ボランティアの活動

- 図書ボランティア（読み聞かせ・貸出・図書室装飾・蔵書点検等）
- 品川カブの水やり
- まち歩きボランティア
- 各学年活動支援（校外学習の引率や実習授業の指導補助等）



第一日野小学校

連携グループ 第三日野小学校・日野学園（前期課程・後期課程）



校長 大関 浩仁
 所在地 品川区西五反田6-5-32
 TEL 3492-6258 FAX 3492-0939
 URL <https://school.cts.ne.jp/hino1/>
 アクセス JR山手線「五反田駅」下車 徒歩 15分
 東急池上線「大崎広小路駅」下車 徒歩 10分
 東急目黒線「不動前駅」下車 徒歩 7分



開校144年の歴史 夢を抱き 夢を実現させる素地をつくる 第一日野小学校

本校の歴史

本校は明治11年（1878年）、上大崎村にあった徳藏寺の堂を借りて開校しました。その後、明治18年に線路の反対側の五反田駅近くの谷山村に移転し、また、明治29年には山手通り沿いにある現在の城南信用金庫本店の敷地に新しい校舎を建てました。戦争によって校舎を焼失した後、昭和37年になって、現在の教育総合センター前の敷地に新校舎を建てました。平成22年には旧日野中学校跡地に移転し、校舎は幼保一体施設第一日野すこやか園、五反田文化センターを併設した近代的な教育複合施設となりました。



教育目標

- 明るく 元気な子
- よく考え やりとげる子
- 温かい心で 力を合わせる子
- 自分の思いを伝える子



学力の定着

- ・算数は少人数指導や習熟度別指導を行い、指導助手も活用して、学力の定着を図ります。
- ・4年生以上は、教科担任制による授業を行い、興味・関心を高め、自ら追究する学習を進めます。
- ・「きらきらタイム」では、漢字を繰り返し学習することで、基礎・基本の定着を図ります。
- ・「聞く・話す」の指導を徹底し、言葉の力の育成を図ります。
- ・英語の時間は、ALT（外国語指導助手）、JTE（日本人英語指導者）と一緒に音声や基本的な表現に慣れ親しみ、読み書きの学習も行います。



全面芝生の校庭



広いアリーナでの音楽会・展覧会・学習発表会

校内研究・保幼小の連携教育、一貫教育

- ・令和2年度から実施している品川区立学校教育要領に基づいた授業に取り組んでいます。小学校の学習内容と保育・幼稚園教育の繋がりを考え、授業を振り返りながら、より効果的な活動を検討しています。また、令和4年度から体育を中心とした授業研究を行っています。
- ・第一日野すこやか園、西五反田保育園との交流活動（5・5交流、4・4交流、1・5交流、ひまなかタイム）や、仲よし学級（特別支援学級）と通常の学級の交流活動を継続的に行っています。



図書館とパソコン室のメディアセンター



校長 山本 修史
 所在地 品川区大崎3-12-22
 TEL 3491-1555 FAX 3491-4761
 URL <https://school.cts.ne.jp/hosui/>
 アクセス JR各線「大崎」駅下車 徒歩4分



「愛校心などの想いをもって 主体的に学び 表現する児童」の育成を目指します。

◎ 教育目標

やさしい子

○正しい礼儀と生活規律、豊かな情操の形成

- ・「挨拶と礼儀」「時間の管理」「廊下歩行」の指導
- ・自主的・自発的に活動できる子を育てる行事の充実
- くすのきまつり 各行事実行委員会など



●くすのきまつり 子どもの企画立案を生かして、学級毎にお店を出す、伝統的な活動です。

よく考える子

○自分から学ぶ姿勢の確立

- ・学習規律の徹底
- ・子どもが「わかる」「できる」を味わえる授業の構築
- ・子どもたちが学びを創り出す授業の展開



●校内研修会 英語・体育を中心に課題解決型の学習への授業改善を行います。

元気な子

○強い心と体の育成

- ・健康や体力の保持・増進と心の育成、朝の「体力アップチャレンジ」など
- ・よきリーダーを育てる縦割り班活動 鼓笛隊



●体力アップチャレンジ 休み時間を工夫し、体力づくりを行っています。

◎ 特色ある教育活動

ものづくり教室

(株)明電舎の協力のもと、子どもたちにものづくりの楽しさを味わわせます。



●モーターを活用したおもちゃ作り

英語教育推進モデル校

「楽しかった」だけで終わらない学びの英語で学びの質を追求します。お話教材を活用し、意味のある文脈の中で英語の言葉を育てます。



●外国人講師との英語の授業



●日本人講師との英語の授業

第三日野小学校

8

連携グループ 第一日野小学校・日野学園（前期課程・後期課程）



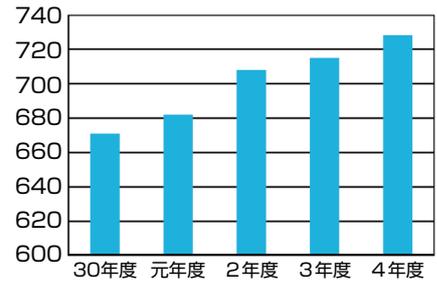
校長 吉川 信次
 所在地 品川区上大崎1-19-19
 TEL 3441-6452 FAX 3441-6503
 URL <https://school.cts.ne.jp/hino3/>
 アクセス JR山手線・東急目黒線「目黒」駅下車 徒歩12分
 JR山手線・都営地下鉄浅草線「五反田」駅下車 徒歩15分
 都営地下鉄三田線・東京メトロ南北線「白金台」駅下車 徒歩9分



校訓 まじめなれ 自らつとめよ
 学校目標 心豊かな子 よく考える子 たくましい子

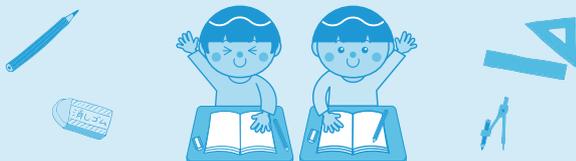
学校基本情報

PTA会長 三浦 広詩 同窓会会長 朝倉 通彦
 町会 池田山・袖か崎・相生会・上大崎一丁目・上大崎一丁目愛誠会・
 上大崎一丁目第一愛誠会・上大崎池ノ谷・上大崎目黒駅前・
 上大崎三丁目・目黒駅前西口・中丸親和・上大崎長者丸・
 五反田中部・五反田東口
 学級数 21学級 児童数 726名（R4.6.1現在）



確かな学力

- 体験的な学習
 - ・町たんけん・町めぐり（2・3年生）
 - ・茶道体験（3・4年生）
 - ・五反田駅前緑化活動（4年生）
 - ・保育体験（5年生）
 - ・近隣大使館との交流
- 基礎基本の定着
 - 〈習熟度別学習〉個に応じた指導（3～6年生算数科）
 - 〈マイタイム〉毎日15分ずつ国語算数の学習
 - 〈寺子屋・地域未来塾〉放課後補習学習（月2回程度）
 - 〈サマースクール〉夏休み補習学習
 - 〈サンライトルーム〉個別指導（1・2年生算数科）
- チャレンジ的な取組
 - 〈漢字検定、算数検定〉本校会場で実施
※令和5年度未定
- 社会の要請に応える学習
 - 〈読書活動〉
学校図書館蔵書数…約12,800冊
貸出数…年間延べ約25,000冊
〈自ら課題を見付け、主体的に解決しようとする児童の育成〉
生活科・理科・社会・市民科一貫プラン



主体性・創造性の育成

- 子ども主体の学校行事
 - 〈探究学習発表会〉
自ら課題を見付け、協働的な学びを通じた課題解決力の育成



〈運動会〉



学年ごと工夫を凝らした表現

〈たてわり班活動〉



遊びを通じた異年齢交流

開かれた学校づくり

- 地域・保護者との関わり
 - 〈町たんけん、町めぐり、緑化、下校見守りボランティアなど〉



地域の方々にお世話になった町めぐり

〈盛んなPTA活動〉

- 〈学校支援ボランティア〉
・読み聞かせ、英語読み聞かせ、本の整理と修繕、学習サポートなど

〈おやじの会〉

- ・肝だめし大会、うどんづくり、シャボン玉づくりなど



校庭いっぱいのシャボン玉

- 幼保義務教育学校との関わり

- ・合同研修、体験授業、交流活動など

第四日野小学校

連携グループ 後地小学校・小山台小学校・荏原第一中学校



校長 島崎 一江
 所在地 品川区西五反田4-29-9
 TEL 3491-1281 FAX 3491-2539
 URL <https://school.cts.ne.jp/hino4/>
 アクセス 東急目黒線「不動前」駅下車 徒歩2分



地域が誇る、

強く・やさしい

四日野っ子を育てます

教育目標

考える子

主体的に学び、自ら考え、正しく判断し、的確に表現する子

仲よくする子

自他を大切にし、人の役に立つことを喜びとする子

健康な子

心身ともに健康で、最後まで粘り強くやり抜く子

「美しい環境」「歴史と伝統」そして「未来」があります

- ◆駅から徒歩2分、商店街と隣接し、かむろ坂の中ほどに位置しています。正門につながるかむろ坂は、品川百景の一つで、春には美しい桜並木が学校を包みます。
- ◆地域の学校として「区民祭り」や「氷川神社例大祭」「かむろ坂さくらまつり」などの地域の行事に積極的に関わり、歴史や伝統を大切にすることを育んでいます。
- ◆全教室に電子黒板、全児童にタブレットPCが配備されています。ICTを活用した教育を、学校で、また家庭でも推進しています。



心身ともに健康な児童を育みます



◆よい姿勢 ◆健康教育の推進

「足うらピタ おへそは前に腰たてて 手は上向きよい姿勢」と、全校で授業のはじめと終わりは必ず、よい姿勢を意識できるようにします。水曜日の朝は1分間の姿勢タイムを実施しています。養護教諭が主となって、安全・保健指導、食育を全学年で行っています。

◆四日野体力向上大作戦

外遊びを励行しています（今年度は校舎改築工事のため体育館と屋上で行っています）。体幹を鍛えるためにコーディネーショントレーニングを実施しています。

確かな学力を身に付けさせます

◆はげみ学習 ◆学校支援ボランティア

「はげみ学習」は、火・水・金曜日の朝15分間に「国語」、月・火・木曜日の昼15分間に「算数」を全学年で行っています。地域の方や保護者による学校支援ボランティアの協力で、習熟度に応じてきめ細やかに指導し、基礎・基本の学力を身に付けさせます。

◆少人数指導 ◆ICTを活用した授業の推進

3年生以上の算数の全時間で、習熟度別編成を基本にした少人数学習を行っています。各教室に配備されたICT機器を有効に活用し、学習意欲を向上させます。



豊かな社会性・人間性を育みます

◆異学年・園児・赤ちゃんとの交流

1～6年生のたてわりの「わくわく班」で月1回、休み時間に6年生がリーダーになって「わくわく班遊び」を行い、わくわく班で全校遠足にも行きます。西五反田保育園の園児等と一緒に遊んだり、給食を食べたり、授業を体験します。中原児童センター「つくしんぼクラブ」に参加している赤ちゃんとお母さんが年3回、学校にきてくださり、5年生と「赤ちゃん交流」をしています。



◆モーニングコンサート ◆地域清掃

毎月1回水曜日に金管クラブが地域の方に演奏を披露しています。かむろ坂から不動前駅前周辺のごみをきれいにしています。（新型コロナウイルス感染予防のため現在は実施を控えているものもあります。）

台場小学校

連携グループ 御殿山小学校・品川学園（前期課程・後期課程）



校長 中嶋 英雄
 所在地 品川区東品川1-8-30
 TEL 3471-3397 FAX 3471-0026
 きこえとことば 3471-4943
 URL <https://school.cts.ne.jp/daiba/>
 アクセス 京浜急行本線「北品川」「新馬場」駅下車 徒歩7分



「互いを尊重し、認め合い、高め合う児童」

～保育園・幼稚園・小学校一体 12年間の中で～

1. 学校概要

江戸時代の終わり、黒船を迎え撃つために幕府が大砲の設置を計画し、砲台を設置するための「台場」建設を行いました。その工事の本拠地が現在の本校の場所です。そして「御殿山下台場」とされたのが、本校の校名の由来です。品川駅東口から、江戸の歴史を残す東海道旧品川宿の商業地域、そしてウォーターフロント天王洲アイル・品川シーサイド方面他広域から子どもたちが通っています。子どもたちは、良き伝統と人々を大切にする人情味あふれる地域の方々に見守られ、未来に向かってたくましく日々学んでいます。

平成29年度より品川コミュニティ・スクールとなり、より一層地域との連携を深めています。

2. 本校の教育目標

徳：自他を大切に、多様性を受け入れ、よりよいものを求める子
 知：必要な知識・技能と課題解決力を持ち、新たな課題を見つける子
 体：心身ともに健康な生活を送ろうとする意欲を持ち、実践する子

3. 目指す児童像

「互いを尊重し、認め合い、助け合い、高め合う児童」「台場小学校に誇りを持ち、地域を愛し、かかわろうとする児童」を目指します。



<赤ちゃんふれあい>

本校はのびっこ園台場保育園・台場幼稚園が同敷地・施設内にあり、0歳児～12歳児童までが学ぶ学舎です。乳幼児、児童を主役にして教職員、保護者、地域が一体となり、自他を認め支持し合える人権尊重教育を推進し、「自分を大切に、他者も大切にする」心をもつ人間性豊かな人材の育成を目指しています。また、自ら学ぶ力を育て、「0～6才：基本的な生活習慣の確立」「7～10才：基礎基本となる知識、技能の習得」「11・12才：自ら学ぶ力と基礎学力をベースとした思考力や表現力の育成」を目指しています。

4. 重点となる教育活動

【学 力】

少人数指導、朝・昼帯学習、副担任制を生かした個別指導、教科担任制・複数の教員による指導体制やタブレット等を活用して、一人一人に適した学習指導を行っています。

【表現力】

対話的活動をベースに言語活動を行い、思考力・表現力・想像力を育てます。伝え合うことを大切にした人権尊重教育を展開できるよう工夫しています。



<あいさつ隊>

【人間力】

挨拶などの基本的な生活習慣や礼儀、コミュニケーション能力を育てる「市民科」や日常の生活指導の充実を図っています。

【安 心】

災害危機を想定した安全指導や避難訓練の実施、地域防災や避難所運営訓練など地域行事への積極的な参加、連携強化に取り組んでいます。PTA 共催の交通安全指導や校舎内外の安全点検を実施して児童の安全確保に努めています。

5. きこえとことばの教室

きこえとことばの教室は、普段は在籍学級で学習をし、決められた日時に通う通級指導学級で、個別指導を中心とした学習を行っています。人工内耳や補聴器を装着しているお子さん、構音障害、吃音、その他言語発達に課題が見られるお子さんが在籍しています。

6. 特別支援教室拠点校

特別支援教室では、発達の段階等に応じて指導目標を設定し、学習または生活上の困難の克服に向け指導しています。本校は、訪問指導を行う教員が在籍する拠点校になります。子どもたちの学習や生活上の困り感を早期に発見し、適切な指導・支援につなげています。

7. 児童数・学級数

	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	5-1	5-2	6-1	6-2	計
児童数	32	33	32	31	30	29	27	27	26	27	27	26	347

令和4年5月1日現在



校長 堀井 昭宏
 所在地 品川区東五反田2-11-1
 TEL 3441-3209 FAX 3441-3246
 URL <https://school.cts.ne.jp/hinogaku/>
 アクセス J R山手線「五反田」「大崎」駅下車 徒歩 5分
 都営浅草線・東急池上線「五反田」駅下車 徒歩 6分



教育目標

国際社会で自己実現を果たす子ども

○学力の育成

「自学自習の体得」を目指し、個に応じた指導を多様に展開しています。

また、9年生での進路選択の幅が広がるように、9年間を系統的に捉えた本校独自のカリキュラム（日野カリキュラム）を作成し、実践しています。

○生活力の育成

義務教育学校の良さを生かし、多様な関わりを経験させながら豊かな人間関係を育成します。「時を守る」「環境を整える」「礼を正す」を教育活動の根底に据えて指導を行い、高い規範意識の育成に努めています。

日野カリキュラムの実践

【英語】

1年生～4年生 週1時間
 5・6年生 週2時間
 7年生～9年生 少人数指導

【算数・数学】

2年生～9年生 少人数指導
 6・7・8年生

次学年の単元を一部学習

【ゆとりある授業時間数】

- ◆1年生～4年生 根っこの時間（週3回×30分）
- ◆5年生～9年生 50分授業（教科担任制）
- ◆5年生～9年生 日野学タイム（週3回×20分）

【進路対策】

- ◆8年勉強合宿（3泊4日）
 5年生以上を受けもつ教員30名、指導助手20名が生徒一人一人に応じた学習指導を行います。受験に向けての勉強の仕方や心構えなどを、学ぶことができます。
- ◆進路対策補習講座（3教科×2時間、年10回程度）
 8・9年生になると申し込むことができます。希望する教科やコース（基礎・発展）を選択し水曜日の放課後に学習します。
- ◆水曜補習
 基礎学力向上のため、2・3・4年生を対象に年10回程度実施。
- ◆検定対策講座
 英検模擬テストを年10回程度実施。



後期課程教員による1年生の音楽授業



多様な交流活動

◆BS活動（Brother&Sister）

上級生が1年生のお世話をする活動です。朝の会や読み聞かせ、給食のお手伝いなどを行います。

◆たてわり交流活動

1～4年（いちよん）、5～7年（FSS）、8・9年（EN）では各ブロック内で、縦割り班を作り、交流給食や合同行事など積極的な交流活動をしています。また1～9年で決めた兄弟学年において、運動会や文化祭、学習成果発表会などを通じた交流も行っています。「上級生が模範」を示していく事で、下級生は憧れを抱き、より良い人間関係の育成に役立っています。

◆特別支援学級との交流

運動会や文化祭では交流委員会が企画し、特別支援学級との交流種目や交流合唱などがあります。

また、交流授業もあり関わりを深めることができます。

◆地域との交流（五反田地域清掃・地域行事に参加）



文武両道（行事・部活）

【1～4年・5～9年運動会】



【合唱コンクール】



【5年生から参加できる部活動】



【日野学園は進学指導に力を入れています】

卒業後の進路（令和3年度 国公立高校）

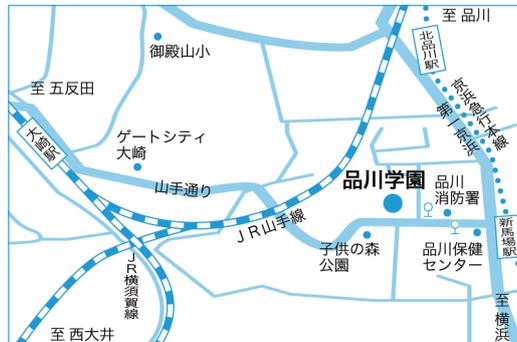
青山、永福、園芸、大江戸、大崎、大田桜台、大森、蒲田、北園、国際、小山台、桜町、芝商業、城東、世田谷総合、第一商業、千歳丘、つばさ総合、田園調布、豊多摩、西、日比谷、本所、三田、美原、港特別支援学校、目黒、八潮、雪谷、御茶ノ水大学附属

（私立高校については、ホームページをご覧ください。）



SHINAGAWA
GAKUEN

校長 荒川 右文
所在地 品川区北品川3-9-30
TEL 3474-2671 FAX 3474-2673
URL <https://school.cts.ne.jp/shinagak/>
アクセス 京浜急行本線「新馬場」駅下車 徒歩3分
JR各線「大崎」駅下車 徒歩12分
東急バス「新馬場駅前」下車 徒歩1分



社会をよりよく変え、支える人材を育てる

歴史と伝統のある品川の地で、地域社会を担う一員としての自覚をもち、社会の中で自己実現を図りながら、しなやかに生き抜く児童・生徒の育成を図るために、義務教育9年間の連続した教育の創造に努めます。

教育目標

- 学ぶ力**——学び続けるための「基礎力」「思考力」「実践力」を身に付けます。
第1～4学年：基礎力、学習技能・規律の定着
第5～7学年：活用力、学習習慣の徹底
第8・9学年：展開力、自学自習能力の伸長
- 豊かな心**——認め合う人権感覚、人権意識を身に付けます。
第1～4学年：社会性の基礎づくり
第5～7学年：よりよい人間関係の構築
第8・9学年：社会人としての素養を獲得
- 健やかな体**——自分の心身の健康を自分で守る態度を身に付けます。
第1～4学年：健康な生活、運動習慣の定着
第5～7学年：鍛錬と健全な心の発達
第8・9学年：たくましい心身の育成

進路指導

職業調べ、職場体験など、市民科を通して体験的に学習します。卒業生の体験を聞く会、進路説明会の開催など上級学校への進学指導も計画的に実施しています。

○主な合格校

お茶の水女子、筑波大学附属、東京学芸大学附属、日比谷、小山台、青山、三田、雪谷、大崎、美原、国際、つばさ総合、晴海総合、早稲田学院、早稲田本庄、慶應義塾志木、慶應義塾女子、ICU、明治大学明治、明治学院、青山学院、専修大附属、駒澤大学、法政大学、中央大学、東洋、関東一、関東国際、日本大学鶴ヶ丘、青陵、広尾学園、品川翔英、青森山田、山梨学院 ほか

特色ある教育活動

- 1-9、4-5、4-3-2のまとまりを生かす教育課程・施設**
第1～4学年（1・2階）総合型教室
学級担任制 45分授業 縦割り班活動による4年生のリーダーシップ 引継式 緑化隊活動を実施
第5～7学年（3階）セミオープン型教室
教科担任制 50分授業 5年生からの児童生徒会活動への参加 7年生としてのリーダー性の育成 立志式を実施
第8・9学年（4階）教室および小学習室型
教科担任制 一部選択授業 連合自治会活動による地域行事への積極的な参加、社会参画
1万㎡のグラウンド・学年で使える多目的スペース・2フロアの学校図書館・25m×6コースの温水プール
- 特別支援教育の充実**
・1～9年生の特別支援学級を併設
・特別支援学級と通常級との交流による相互理解
・都立品川特別支援学校との交流
- 市民科等を活用した教育活動**
・市民科4つの柱「めざす子どもの姿を達成するための4本柱」
1自己理解 2他者理解 3崇高な生き方 4社会性・将来性の育成
・近隣連携園と児童との交流、生徒の保育体験
・国際理解教育の推進
姉妹校ライマンモア校（アメリカ）との定期交流やオリンピック・パラリンピック教育「世界ともだちプロジェクト」パークハウススクール（イギリス）とのスカイプを活用した交流活動
- 部活動**
文化系：吹奏楽部、美術部、メディア部、科学部、演劇部
運動系：バスケットボール部、ソフトテニス部、水泳部、野球部、サッカー部、女子バレーボール部、陸上部



入学式・後期課程始業式



運動会（5-9年）



書初め大会（1-6年）

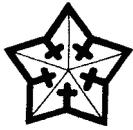


立志式（7年）

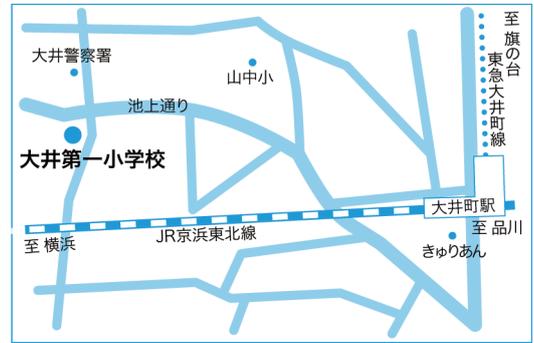
児童・生徒・学級数

（令和4年5月1日現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援 1～9年	合計
児童生徒数	125	121	121	136	126	129	108	123	130	27	1146
学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	40



校長 藤森 克彦
 所在地 品川区大井6-1-32
 TEL 3771-5240 FAX 3771-5348
 URL <https://school.cts.ne.jp/oichi/>
 アクセス JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線
 「大井町」駅下車 徒歩13分
 「大井町」駅よりバス「大井第一小学校前」下車
 徒歩0分



「かかわる 創る」 自他共に大切にし、創造性豊かに生きる人材の育成

1 「かかわる」 多くの児童が学び合う学舎 (令和4年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級数	4	4	4	4	4	4	24
児童数	129	137	137	131	131	139	804

2 「創る」 一人一人を大切に育む教育目標

- ◆考える子 児童と、教職員・保護者・地域の方々相互の関わり合いを大切にします。そして多様な一人一人を大切に、他者と協働し、創造性豊かに生きる児童の育成を目指します。
- ◆思いやりのある子
- ◆健康な子

3 「かかわる 創る」 特色ある教育活動

(1) 児童・保護者・地域相互に安心して学べる学校経営

- ・「チャイム始業」「目と心で聴く」等、学びの基礎となる規範意識、協働意識を育む「大一スタンダード」(学校のきまり)の全校展開。
- ・多様性への相互理解、有用感を育む「フレンドタイム(異学年交流)」の学習活動。
- ・高学年児童のリーダーシップと自己有用感の涵養を目指す学校行事。
- ・「自他を大切にすることや価値観、コミュニケーション能力」を育む人権教育活動。

(2) 基礎基本の定着を基に、多様な発想や創造性を育む学習活動

- ・個に応じた習熟度別・少人数・個別指導の徹底。(知識・技能の着実な習得)
- ・「児童の思考力を高める～主体的・対話的で深い学びを通して～」を目指し、タブレット端末を活用した授業研究。
- ・「聞く」「話す」話し合い活動を導入した授業。(相互に理解し認め合える力の育成)
- ・問題解決型の授業展開。(読みとる力、解決する力、表現する力の育成)
- ・担任とJTE(英語専科指導員)ALT(外国人英語講師)による英語授業。

(3) 地域は学びのキャンパス―品川コミュニティ・スクールの充実

- ・「地域は学びのキャンパス構想」保護者、地域、専門家から学ぶゲスト授業の充実。
- ・地域の文化や歴史を題材にした、地域に根ざした探究学習。
- ・地域、外部講師による「すすくすくスクール(品川地域未来塾)」学習支援活動。
- ・地域、保護者による図書、英語、園芸など各種ボランティアによる学習支援活動。

4 卒業生の活躍 一貫教育の推進

- ・「品川区立学校教育要領」の実践を通してどこの中学校に進学しても力を発揮できる能力を育成します。明治8年の開校以来147年。20,000名以上の卒業生を輩出し、現在も同窓生の皆様が地域で、社会で、世界中で活躍されています。



フレンドタイム(異学年交流活動)



習熟度に応じた少人数算数指導



対話し合い深め合う学習活動



保護者ボランティアによる朝の読み聞かせ



大森貝塚保存会長による郷土学習

鮫浜小学校

連携グループ 立会小学校・浜川小学校・浜川中学校



校長 松本 覚
 所在地 品川区東大井2-10-14
 TEL 3765-2844 FAX 3765-2135
 URL <https://school.cts.ne.jp/samehama/>
 アクセス 京浜急行本線「立会川」「鮫洲」駅下車 徒歩5分



未来に生きる力・社会に生きる力を育む学校

～ 栄えある学校 のびゆく学校 たのしい学校 ～

【進んで学ぶ子】

しっかりとした基礎学力を身に付け、興味をもって学習に取り組む子を育てます。

●基礎の時間（帯学習）

朝と昼の15分間、低～中学年を中心に、「読む」「聞く」を中心とした、学習の基礎力を鍛える学習に取り組んでいます。

●さめはま学習帳

家庭での学習習慣が身に付くように、1日1ページ、「さめはま学習帳」に取り組んでいます。

●タブレット端末

1人1台の専用端末を使って、調べ学習やプレゼンテーション、家庭学習などに活用しています。校舎内のどこでもインターネットに接続できます。



【元気でやりぬく子】

様々な活動を通して、健康や安全に関心を持ち、自らの心と体を大切にすることを育てます。

●歯磨き活動

健康な生活習慣を身に付けるために、給食の後の5分間、全校で歯磨きをしています。

●安全指導

1年生の歩行訓練、3年生の自転車教室、不審者訓練など、安全を守る力を育てています。

●菜の花ロードランニング

菜の花が咲き誇る2月の「花海道」を全校児童が走ります。



【心を磨く子】

人とのふれ合いを通して、共生の心を持ち、社会に貢献する子を育てます。

●仲良し交流活動

毎月、1～6年生の縦割り交流班活動を行っています。他にも高齢者や保育園との交流活動などで、豊かな人間性を育みます。

●あいさつ運動

児童会を中心に、校門での「あいさつ当番」や、地域の方々の「はまりようあいさつ運動」に取り組んでいます。

●花海道・ぎんなん募金

地域の誇り「しながわ花海道」の種まきや、学校でとれる「ぎんなん」を使った募金活動など、地域活動に参加しています。



【コミュニティの力】

8つの町会があり、「同窓会」の方々と、夏の「ラジオ体操」などで、学校を支えていただいています。

●コミュニティ・スクール（CS）

「学校支援地域本部」を中心に、様々な方々にゲストティーチャーや授業サポートをしていただいています。

●保護者（PTA）

「夏祭り」や「絵馬飾り」などを開催していただいています。



【未来に向かう力】

「私で5代目！」「おじいちゃんもおばあちゃんも鮫浜小学校」という子も多く、地域に根ざした学校です。

●開校146年（明治9年開校）

・樹齢300年といわれる「いちょうの木」があります。
 ・アルファベットの「S」と「H」の珍しい校章です。

●未来の校舎

・2022（R4）年夏に完成したばかりの最新の校舎です。



山中小学校

連携グループ 大井第一小学校・伊藤学園（前期課程・後期課程）



校長 守田 由紀子
 所在地 品川区大井3-7-19
 TEL 3772-3006 FAX 3772-0271
 URL <https://school.cts.ne.jp/yamanaka/>
 アクセス JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線
 「大井町」駅下車 徒歩8分
 JR横須賀線・湘南新宿ライン「西大井」駅下車 徒歩10分



互いに人権を尊重し合う情操豊かな子どもの育成に努める学校 ～山中コミュニティ・スクール～

教育目標

深く考えやりぬく子ども(知) きまりを守り協力する子ども(徳) 健康で明るい子ども(体)

学校経営の重点

- ① ESD、SDGs教育の推進
 - ア 各学年、各教科の単元目標とESD、SDGsの達成目標をリンクさせた単元開発を行う。
 - イ 市民科等を通し、児童が主体的にESD、SDGsに取り組めるシステムを作り、そのための活動を推進する。
 - ウ コミュニティ・スクール・PTA・おやこエコクラブ・緑化隊・山中いきいき広場・地域センターと共にESD、SDGs教育を進める。
- ② 一人1台のタブレット端末を用いて、主体的・対話的な学びを展開
 - ア 学習効果が高まるロイロノート活用法を考え、授業に生かす。
 - イ 家庭と学校を結ぶ教育活動に生かす。

研究主題

身の回りのできごとから自ら課題を発見し、解決方法を創造できる児童の育成
 ～SDGsの達成に貢献するために～

<教育活動（知）>

- 朝学習の計算タイム・読書
- 昼学習の漢字・言語指導
- 習熟度別学習（3年生以上の算数）
- 品川版英語学習
- 理科・社会の教科担任制（4年生以上）
- CS主催の個別指導（未来塾「わくわく」の推進）
- 区学力調査結果の弱点を克服する授業の展開



<教育活動（徳）>

- 山中スタンダードの徹底
- いじめ、不登校の早期発見と早期解決
- 市民科授業の充実
- SDGs教育の指針
- 異学年交流、たてわり活動
- 山中合唱団
- 緑化隊、おやこエコクラブとの交流
- 町会、山中いきいきクラブとの交流



<教育活動（体）>

- 体力テスト実施
- 品川スポーツトライアル
- ワンミニッツエクササイズ
- オリンピック・パラリンピック教育
- 手洗い、うがい、検温の励行
- 食育
- 命を守る教育（不審者・交通安全・災害・感染症・癌）



山中小学校ゆるキャラ
 「やまなかくん」



校長	滝淵 正史		
所在地	品川区東大井4-15-9		
TEL	3474-3424	FAX	3474-4994
URL	https://school.cts.ne.jp/tachiai/		
アクセス	J R京浜東北線・東急大井町線・りんかい線 「大井町」駅下車 徒歩 7 分 京浜急行本線「鮫洲」駅下車 徒歩 3 分		



《目指す学校像》

「確かな学力と豊かな人間性を育む学校 ～連携・協働する組織力で実現をめざす～」

- 確かな学力
 - ・「教えて考えさせる授業」を取り入れ、児童が思考力や判断力、表現力を磨き、児童の学習に向かう力の底上げを実現させます。
- 豊かな人間性
 - ・一人一人の児童の安心感の醸成に努めながら、市民科を中心とした「たてわり班活動」や「様々な学校行事」を充実させ、豊かな人間性を育成していきます。

《教育目標》

地域に誇りをもち、自分の人生を切り開くことができる確かな学力と正しい判断力を身に付けた、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標を掲げる。

- すすんで学ぶ子
- 心を磨く子
- 元気でやりぬく子

《特色ある教育活動》

- 習熟度別学習・教科担任制で学力の向上を図り、成果を上げています。
- 「立会スタンダード」により、全教員が同じ考え方で指導を行っています。
- ALT（外国語指導助手）・JTE（日本人英語指導者）によるジョイント・ストーリーテリング、海外の行事を知る秋フェスタ・冬フェスタなどの活動を通して、英語学習に力を入れています。
- 朝読書・保護者ボランティアによる読み聞かせやブックフェスタ（本のお祭り）などの活動を通して、読書活動の充実を図っています。
- ICTを活用した教育の充実を図り、ボランティアティーチャーによる情報モラルを含めたパソコン学習も実施しています。
- 金管バンドやコンサート鑑賞など、音楽のあふれる学校です。
- 委員会活動を改め「会社活動」と称し、「主体的」「自発的」な活動を進めています。
- 豊かな体験活動を数多く実施しています。
 - ・茶道体験
 - ・ブックフェスタ
 - ・英語フェスタ
 - ・トウモロコシの皮むき体験
 - ・地域めぐり・歴史探訪
 - ・企業と連携したお仕事体験学習
 - ・病院と連携した保健学習 など
 - ・雪国体験
 - ・子どもまつり
 - ・音楽会・展覧会・学芸会（隔年）
 - ・環境学習
 - ・弁護士によるいじめ防止授業
 - ・企業と連携したプログラミング学習
 - ・鉛筆教室
 - ・邦楽体験
 - ・田植え・稲刈り体験



空手体験学習



英語冬フェスタ



プログラミング学習



邦楽体験



会社活動



田植え体験

浜川小学校

連携グループ 鮫浜小学校・立会小学校・浜川中学校



校長 高橋 壯昌
 所在地 品川区南大井4-3-27
 TEL 3761-0530 FAX 3761-0609
 URL <https://school.cts.ne.jp/hama-e/>
 アクセス 京浜急行本線「立会川」駅下車 徒歩 5分



明るく 仲よく 楽しく あ・な・たの浜川

教育目標

- ◇自ら学び、表現できる児童の育成
- ◇心を磨き、ルールを守る児童の育成
- ◇豊かな人間関係を築くことができる児童の育成
- ◇体を鍛え、健康で逞しく生き抜くことができる児童の育成

目指す学校像

- ◇児童が安心して学ぶことのできる学校
- ◇児童の能力・個性を引き出せる学校
- ◇児童・保護者・地域から信頼される学校

児童が安心して学ぶことのできる学校

1、情報の迅速な共有により、学校組織力を強化する。

- ① 事実報告を関係主任・管理職に速やかに報告し、共通指導（対応）を行う。
 - ◇教職員の生活指導力アップ
 - ◇初期対応力・組織解決力の強化 ◇生活指導夕会の充実
- ② 相談活動の環境整備を進める。
 - ◇生活アンケートの実施と活用 ◇目安箱の活用
 - ◇家庭訪問・個人面談の充実

2、児童が学習に集中できる環境整備の共通化を図る。

3、関係諸機関との積極的な連携により、効果的な指導の実現を図る。

児童の能力・個性を引き出せる学校

1、教師の授業力向上を図る取組を実施する。

- ◇タブレットPCの効果的活用による個別最適な学習の追求
- ◇授業観察システム（自己評価、管理職・主幹・主任による指導助言）の充実
- ◇校内研修会への主体的な参加（テーマ検討、方法の見直し）

2、新たな生活様式に対応した指導計画の改良、教材の工夫を継続する。

- ① 各学年・各教科の年間指導計画の改良・学力向上を目指した教材開発を行う。
 - ◇「主体的・対話的で深い学び」の実現に必要な指導力を強化
 - ◇課題解決するための「思考力・判断力・表現力」を育む指導を充実
 - ◇コロナ禍における発表する場、認め合う場の工夫と創造
- ② 教科相互の関連を図ったカリキュラムマネジメントを強化する。
 - ◇各教科・行事・体験学習・市民科・オリパラ教育の系統化、推進
- ③ タブレットを活用した学習の実践力を強化する。
 - ◇学校公開や研究授業等の機会を活用した実践共有、充実。

3、児童の基礎学力補充の環境整備を行う。

- ◇浜川タイムの内容と指導の充実…国語（漢字、100マス作文）

- ◇アフタースクールを実施…4～6年「算数」基礎力補充の放課後学習（地域未来塾による学習ボランティア指導者の活用）

児童・保護者・地域から信頼される学校

- 1、児童に愛情を注ぎ、教師自らが手本となる指導実践を行う。
- 2、保護者・地域との連携（直接触れ合う場）、外部への情報発信を通して学校教育活動への理解深化、協働体制づくりを推進する。
- 3、コミュニティ・スクール事業のさらなる推進を図る。
 - ◇校内体制の強化…コーディネータとの連携強化、運営体制の深化。
 - ◇学校・保護者・地域の三者間による「協働」の取組
放課後補習活動、一斉防災訓練、高齢者とのふれあい等
 - ◇地域人材の有効活用、積極的な人材発掘

その他

- 1、浜川小学校の特色（強み）づくり
 - ◇和太鼓クラブの活動を推進
 - ◇市民科一貫プランで行う体験学習内容の工夫
- 2、校舎改築に伴う学習・生活指導の整備と工夫
 - ◇学習環境の整備を多岐に渡って実施し、対応方法を蓄積
 - ◇運動会の実施方法、水泳指導の工夫
 - ◇休み時間の安全確保のための工夫
 - ◇読書活動の環境整備（改築中は図書館面積が半減する現実への対応）の工夫
- 3 働き方改革の促進
 - ◇心身の健康保持のため、組織・個人の両レベルで改良を着実に推進



元気に登校



自分の考えを発表

伊藤小学校

連携グループ 上神明小学校・富士見台中学校



校長 石出 浩朗
 所在地 品川区西大井5-6-8
 TEL 3771-5331 FAX 3771-5949
 URL <https://school.cts.ne.jp/ito-e/>
 アクセス JR横須賀線・湘南新宿ライン「西大井」駅下車 徒歩8分



伊藤幼稚園 伊藤保育園

遊びを中心としたふれあい交流や給食交流、小学校体験などを通して、小学1年生になる心の準備や態度を身に付けます。

保幼小連携

交流



伊藤小学校

教育目標

- よく考える子
- 人を思いやる子
- 健康で粘り強い子

一貫教育

連携



富士見台中学校

6年生が部活体験や授業体験、富士見祭への合唱参加、作品展への出品等を通して中学校進学に憧れや期待感がもてるようにしています。

<目指す児童像>

自らの資質・能力を最大限に発揮でき、集団の中で自分の個性を大いに発揮し、何事にも一所懸命に取り組み誠実に責任を果たす子ども

伊藤小学校は学区内に初代総理大臣である伊藤博文のお墓があり、伊藤家の家紋を校章にいたっている伊藤博文にゆかりのある学校です。



80周年記念イメージキャラクター
いとじい

伊藤小の特色ある教育活動

挨拶の大切さや、なかよし班活動での異学年交流で、児童相互が認め合うよさを学んでいます。また、6年生は、東京では味わえない貴重な体験を通して、小学校最後の思い出を仲間とともに作ります。これらの活動を通して、集団の中での自己肯定感や共感的人間関係を育てています。



自然豊かな校庭

コミュニティ・スクールとしての地域との連携

学校地域コーディネーターが働きかけて地域の方や保護者に協力していただき、事務支援や体験的な授業支援をいただいています。地域と共に教育活動の充実を図っています。



なかよし班活動での異学年交流



朝遊び



CS ボランティアによる体力テストの測定補助



養玉院（大仏）の写生会

PTA活動と地域との連携

PTA活動では、子どもたちが地域のお祭りに愛着をもって参加できるように見守ったり、趣向を凝らした競技で盛り上げるふれあい運動会を毎年開催したりし、地域と連携しながら子どもたちの健全育成に努めています。



子どもみこしパレード



伊藤公墓所や養玉院のボランティア清掃



ドリームジョブ



ふれあい運動会

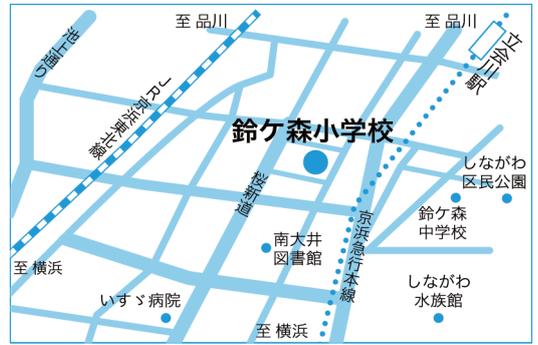


地域防災訓練

(令和3年度は、実施できなかった活動も掲載しています。)



校長 守屋 直孝
所在地 品川区南大井4-16-2
TEL 3763-6631 **FAX** 3763-3510
URL <https://school.cts.ne.jp/suzu-e/>
アクセス 京浜急行本線「立会川」駅下車 徒歩 10分
 J R 京浜東北線「大森」駅下車 徒歩 12分



〇一貫教育目標〇

【自ら学び表現できる人】

確かな学力や学ぶ力を身に付ける。
 正しい判断力があり、人と豊かなコミュニケーションが取れる。

【思いやりのある行動ができる人】

思いやりをもち、マナーやルールを守る。
 集団としての秩序を保つ。

【自ら心と体を磨く人】

意欲的に行動する。
 自己の向上に向けて、我慢強く取り組む。

〇児童数（5月1日現在）〇

1年	109人	4クラス
2年	101人	3クラス
3年	131人	4クラス
4年	110人	3クラス
5年	93人	3クラス
6年	85人	3クラス



〇本校の特色〇

【鈴小スタンダード】

- ◆**授業スタンダード**
 授業前の学習準備、授業開始と終わりの挨拶、授業中の発言の仕方、話の聞き方、ノートの書き方などについて分かりやすく示し、授業規律の徹底を図っています。
- ◆**生活スタンダード**
 登下校時の安全確保のための約束、服装や身だしなみ、基本的な持ち物、5つの「あ」（あいさつ、あつまり、あんぜん、あとかたづけ、ありがとう）を重視した学校生活などについて、連帯感・所属感を育てています。
- ◆**給食スタンダード**
 準備・食事の仕方・片付けについて、時間で区切った分かりやすい約束事に全学級で取り組んでいます。
- ◆**家庭学習スタンダード**
 毎日、学年に応じた宿題を課し、家庭と連携しながら学習習慣を身に付けさせています。

【体力づくり】

- ◆**「もりもりトライアル」**
 1～6年生が実態に応じて、「なわとび」「キャッチボール」「キックパス」など、品川スポーツトライアルの運動に取り組んでいます。
- ◆**チャレンジジャンプ週間**
 2学期に、長縄を3分間で何人跳べるか記録を取り、体力向上とともに学級の結束力も高めています。
- ◆**持久走記録会**
 目標達成に向けて、練習時から無理のない速さで走り抜くことで、達成感や爽快感を味わわせ、生涯スポーツにつなげています。記録会は品川区民公園で実施しています。

【交流活動】

- ◆**たてわり班活動（すずじタイム）**
 1～6年生 20人位の縦割り班を編成し、自己紹介、もの作り、ゲームなどを通して交流を深めています。
- ◆**小中連携**
 鈴ヶ森中学校で、5・6年生が中学校体験活動を行ったり、小中合同コンサートなどの交流活動を行ったりしています。
- ◆**保小連携**
 近隣保育園と読み聞かせや学校たんけん、体育授業体験など保小連携交流を行っています。



◆**鼓笛クラブ**
 4～6年生の希望者で、金管楽器と打楽器で編成されている課外クラブです。鈴ヶ森コンサートなどで活躍しています。

◆**アートスペース**
 各教室、廊下および踊り場の掲示板に児童の作品を中心に掲示しています。アートスペースには、図工科立体作品なども展示しています。



連携グループ 大井第一小学校・山中小学校・伊藤学園（後期課程）



シンボルマーク



校章

校長 蜂屋 隆子
所在地 品川区大井5-1-37
TEL 3771-3374 **FAX** 3771-0944
URL <https://school.cts.ne.jp/itogaku/>
アクセス JR横須賀線・湘南新宿ライン「西大井」駅下車 徒歩7分
 JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線「大井町」駅より
 バス「西大井駅」行き「伊藤学園」下車 徒歩1分



かんなんしんく いど きはく しょうねんしょうじょもん 艱難辛苦に挑む気迫あふれる少年少女だけがこの門をくぐることができる

入学式および卒業式のときだけに開ける伊藤門のそばに、この言葉を刻んだ小さなプレートが掲げられています。

教育目標

- 自学求道「かしくく」自ら学び生きる道を切り開く人を育成する（確かな学力）。
- 切磋琢磨「なかよく」互いに磨き合いながら生きる人を育成する（豊かな社会性）。
- 至誠一貫「ねばりづよく」忍耐強く誠実に責任を果たす人を育成する（責任を果たす忍耐力）。



目標達成に向けた指導の重点

〈確かな学力を育てます〉

- 9年間の一貫性のある教科指導
- 5年生以上の教科担任制
- 少人数指導やチームティーチング、タブレットを活用した授業の充実
- 家庭学習の習慣化と支援
- セルフチェックの導入



習熟度別少人数学習（英語）

〈豊かな社会性を育てます〉

- 異学年交流の充実
- 5年生以上の部活動・生徒会活動への積極的な参加
- 通常学級と特別支援学級の交流
- 一体感を味わう学校行事
- いじめ防止に重点を置いた市民科



いじめ防止プログラム（市民科）

〈責任を果たす忍耐力を育てます〉

- 規律と礼節を重んじる全校体制の生活指導
- 学校行事などを通して育成するリーダー性
- 職場体験、キャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実
- 学園生として誇りをもたせる指導



ボランティア活動（地域清掃）

コミュニティ・スクールとして

平成28年度から地域と協力して子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールになりました。「校区教育協働委員会（学識経験者・地域住民・保護者等）」で話し合い「学校地域支援本部（学校支援ボランティア）」と協働して、教育活動の充実を図っています。

卒業生の主な進路先

- 都立高校等** 日比谷、青山、国際、三田、小山台、駒場、戸山、西、新宿、雪谷、田園調布、目黒、大崎、八潮、城東美原、産業技術高専、つばさ総合、晴海総合、芝商業、第一商業、永福学園、港特別支援など
- 私立高校** 慶應義塾、慶應義塾女子、早大高等学院、早大本庄、國學院、法政第二、法政女子、駒澤大学、東海大高輪台、日本大学鶴ヶ丘、青稜、中央大学杉並、日本大学、品川翔英、明治学院、関東国際、駒場学園、大森学園、自由ヶ丘学園、東京、東京実業、日体大荏原、蒲田女子、品川エトワール女子など



パティマーク

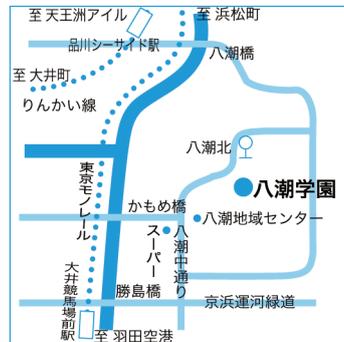
児童・生徒・学級数（令和4年5月1日現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特支	合計
学級数	3	3	3	2	3	2	4	4	4	5	33
児童生徒数	92	83	87	68	87	67	122	129	159	32	926





校長 小宮山 琢磨
 所在地 品川区八潮5-11-2
 TEL 3799-1641 FAX 3799-1643
 URL <https://school.cts.ne.jp/yasigaku/>
 アクセス JR京浜東北線「大井町」・JR各線「品川」駅からバス「八潮北」下車 徒歩2分
 りんかい線「品川シーサイド」駅下車 徒歩15分
 東京モノレール「大井競馬場前」駅下車 徒歩15分



令和4年度 八潮学園グランドデザイン

品川区教育ルネサンス

学校教育のイメージ
夢と力をはぐくむ学校

目指す学校の目標

確かな学力
豊かな社会性・人間性

<品川ルネサンスの柱>

9年間を見通した教育の確立

品川コミュニティ・スクールの推進

学校地域支援本部の活動の計画

市民科・英語力向上・ICT活用等

八潮学園の目指す学校

- 子供たちが自分で考え、進んで行動できる学校
- 子供たちが成長を実感できる学校
- 家庭や地域と共に歩む学校
- 教師が生きて活動する学校

八潮学園の教育

- 義務教育9年間を俯瞰し、かつ柔軟な教育課程の構築
- 細やかな指導による基礎基本の学力の定着と向上と学校施設を生かした家庭と連携した体力の向上
- 生活指導の充実による豊かな社会性・人間性、人権尊重精神の育成
- 地域に貢献する人材の育成
- 「4-3-2」の発達段階に応じた学習スタイルの確立及び多様な形態での異学年交流の推進
- 幼稚園・保育園との連携活動の一層の推進

夢と力を育む八潮学園

<八潮学園の教育目標>

知力のある人 徳力のある人 体力のある人

1~4年

よく考える子
心やさしい子
明るく元気な子

5~9年

自ら学び創造力のある児童生徒
思いやりと規範意識をもつ児童生徒
健康でたくましい児童生徒

基本方針

1-4年

- 基礎・基本の学力を身に付けさせるために学習規律を1年生の初めから丁寧に指導し、定着を図る。家庭学習の習慣を身に付けさせ、自ら計画的に学習に取り組む態度を育てる。
- 集団生活を送るために必要な基本的生活習慣を、日常生活の中で繰り返し指導する。
- 4年では、縦割り活動、委員会活動、儀式的行事等を通してリーダー性を育てる。
- 市民科の授業を通して、学習・生活両面での基礎・基本的態度を身に付けさせる。

5-7年

- 基礎・基本を定着させるとともに、全教育活動において一段高い目標を設定させ、それに向かって進んで取り組む態度を育み、学力を向上させる。
- 1~4年で学んできた基本的な生活上のルールやマナーを自分のものとして振り返らせ、集団の中で、自ら判断し行動できるようにする。
- 市民科の授業を通して、学校や地域の様々な活動における自己の役割を考えて、自ら取り組むようにつなげる。
- 児童生徒会の中心である自己の役割を自覚し、すすんで貢献させる。

8・9年

- 基礎・基本の学力をもとに自ら課題を見つけ、積極的に学習しようとする態度を育て学力を向上させる。
- 身に付けた規範意識をもとに、義務教育学校の最高のリーダーとして、行事や部活動などの諸活動において中心となって運営させる。
- 市民科学習のまとめの学年として、地域・社会に積極的に貢献しようとする態度を育てるとともに、自らの進路を切り開く力を身に付けさせる。
- 地域と連携したボランティア活動に積極的に取り組ませる。

具体的な取組

基礎・基本の徹底

- 5年から50分授業。小中教員による教科担任制の導入。
- 少人数による習熟度別指導の実施と個別学習指導の充実。
- 恵まれた環境や施設を生かし、芸術やスポーツ、科学技術やものづくりの取組。
- トリプル3（漢字検定・英語検定・数学検定での3級取得）へのチャレンジ。
- 体力づくりへの取組
- 学力向上週間、基本的な学習内容の定着。
- 宿題や家庭学習での取り組みの徹底。
- 5年から定期考査の実施。7年から2学期中間考査の実施。
- 8年「学び合宿」の実施。
- ヘルスプロモーションを目指した歯磨き運動。

地域との連携

- 各教科や市民科等の授業を通して、地域人材を活用し、ゲストティーチャーから学ぶ地域に根ざした活動を推進。
- 8・9年児童生徒代表会を中心に、八潮地域センター、八潮児童センター、八潮地区の幼稚園・保育園5園、八潮自治会連合会をはじめとする諸団体等、地域活動への積極的参加。
- 八潮学園地域未来塾の計画・実施をはじめとする品川コミュニティ・スクールの一層の推進。
- 八潮学園の強みを知らせるプロモーション活動の実施。

新しい教育課題への対応

- 1人1台端末の活用による「協働的な学び」「個別最適な学び」を実現する授業改善。
- 市民科一貫プランの一環として、東京都立産業技術高等専門学校と連携して、ものづくり教育の開発・実施。卒業時の進路選択における特別推薦制度の実施。
- 将来、持続可能な社会の創り手となるよう、持続可能な開発目標と関連させたカリキュラムの実施。
- 教育の改善・充実を目的とした教師の働き方改革を通じた、効果的な教育活動の実施。



学習成果発表会



1・9年交流「校歌教え隊」



運動会

主な進学先

●国公立

- ・つばさ総合
- ・六郷工科
- ・深沢
- ・芝商業
- ・忍岡
- ・大田桜台
- ・世田谷総合
- ・小山台
- ・桜町
- ・八潮
- ・晴海総合
- ・上野
- ・東京工業高専
- ・狛江
- ・美原
- ・大森
- ・産業技術高専
- ・新宿山吹
- ・駒場
- ・青山
- ・町田総合
- ・大崎
- ・雪谷
- ・園芸
- ・蒲田
- ・八丈
- ・六本木

●私立

- ・大森学園
- ・青稜
- ・関東国際
- ・関東第一
- ・仙台育英
- ・新渡戸文化
- ・立正大立正
- ・朋優学院
- ・日本大学鶴ヶ丘
- ・目黒学院
- ・文教大附属
- ・大東学園
- ・品川翔英
- ・品川エトワール女子
- ・バンタン高等学院
- ・ID学園
- ・帝京
- ・国士館

京陽小学校

連携グループ 宮前小学校・戸越台中学校



校長	岩田 環
所在地	品川区平塚2-19-20
TEL	3781-4775 FAX 3781-4983
URL	https://school.cts.ne.jp/912keiyo/
アクセス	東急池上線「戸越銀座」駅下車 徒歩3分 都営地下鉄浅草線「戸越」駅下車 徒歩7分



強く やさしい 子どもを育てる

地域の皆さんに見守られ、140年以上の歴史を刻んできた学校です。変化の激しい時代の中にあって、

- ・自分で生きていくことができる強さ
 - ・すべての人がよりよく生きられることを希求する優しさと行動力を、子どもたちに身に付けることができるようにしたいと考えます。
- 品川コミュニティ・スクールとして、地域の皆さまと想いを一つに、教育活動を推進します。



教育目標

すすんで学ぶ

心豊かに

たくましく

教育活動

すすんで学ぶ

- ・静かに徹底して「聞き」「考え」、さらに「表現する」ことを重ねて、学びを深めることを大切にする。
- ・自分の思いや考えを表現し合う授業を通して、学び合う子の育成を目指す。
- ・「言葉の時間」(俳句や短文作り)や「心の時間」(読書活動)を通して、言葉の力を高める。



友だちの考えとの出会い

心豊かに

- ・様々な人との「出会い」を通して、他者の生き方に学ぶ。
- ・行事等での多くの「出番」により、自信を身に付ける。
- ・あいさつ運動など、児童自ら学校をよりよくする取組を推進する。



様々な職業に就いている人との出会い (ドリームジョブ)

たくましく

- ・休み時間は「外遊び」
- ・「正しい姿勢」についての意識を高める指導を継続する。
- ・月1回30分間のスポーツタイムや、家庭におけるワンミニッツエクササイズにより、運動習慣を身に付けさせる。



スポーツタイム

☆「出会い」の創出(人と・自然と・本と・・・)

☆「強くやさしい京陽の子 15のやくそく」に基づいた、全校での指導

オリンピック・パラリンピック教育レガシーアワード校

東京2020大会を通して学んだ、「違いを知り認め合う力」「多様性を尊重し共生していこうとする姿勢」を引き続き育むことを目指します。



車いすバスケットボールとの出会い

京陽の □□塾

- 商人塾 (商店街でのお店体験)
- 未来塾 (基礎学力向上・プログラミング等)
- 自然塾 (自然と出会う様々な活動)・・・etc.

学校支援地域本部(けいようクローバー)の力を得ながら、豊かな学びを創り出します。



商人塾(社会との出会い)

延山小学校

連携グループ 中延小学校・荏原平塚学園（前期課程・後期課程）



校長	関 拓也		
所在地	品川区西中延2-17-5		
TEL	3781-3806	FAX	3781-3942
URL	https://school.cts.ne.jp/enzan/		
アクセス	東急池上線「荏原中延」駅下車 徒歩7分 東急大井町線「荏原町」駅下車 徒歩10分		



～主体的・対話的に、深く継続的に学ぶ子どもを育てる～

一貫教育 目標

- 1 人やもの・ことに主体的に関わる子どもの育成
- 2 相手の立場に立った理解と対話のできる子どもの育成
- 3 学ぶ習慣を身に付け、継続的に学ぶ子どもの育成

育てる力

『主体的・対話的・継続的に学ぶ力』

情報・知識社会に生きる子どもたちにとって、社会人となっても絶えず学び続ける継続的な学習の習慣の確立は必須です。基礎的・基本的事項の習得と概念を理解させ、ものや人に自ら関与する「主体性」と、相互理解に基づいた「対話力」を育てていきます。

育てる子ども像

内面化した行動規範をもち、思いやりのある行動をとり、自分の良さを理解してその力を発揮し、学び続ける知・徳・体のバランスを兼ね備えた心豊かな子どもを育てます。

<具体的子ども像>

- 学びの成果を積極的に伝え、交流する
- 相手の立場に立って考え、場に応じて応答する
- 多様な考えを理解し、物事や人に自ら関わる
- 自分や友達を大切に、思いやりをもって行動する
- 元気に粘り強く活動に取り組む
- 内面化された行動規範をもっている
- 方法や段取りを自ら選び、主体的に取り組む

基本姿勢 教職員の

教職員が一丸となり、子どもたちにとってプラスになることを常に考え、教育者のプロとしての自覚をもち、教育活動を推進してまいります。

- 健康や安全について高い意識をもつ
- 授業力向上の取組を充実させる
- すべての教職員で児童を育てる
- 計画的に職務を遂行する
- 子どもにとってプラスの改善をする
- 問題・課題を迅速に共有し対応する

教育課程の 基本姿勢

卒業後、どこの中学に進学しても、自分の役割・責任を自覚し、的確な状況判断の下に自分の力を発揮し、集団に貢献できる子どもを育てます。就学前までの育ちと中学校からの伸長を視野に入れ、6年間のカリキュラムを学校全体で共有し、各学年のカリキュラムを工夫しています。「本気になる」場を多様に作り、子どもたちを育てます。

- 1年……みんなが「学校大好き」と言えるよう、まずは担任と子ども一人一人の信頼関係を作ります。ステップを踏んで集団生活習慣が身に付くよう国語科・算数科・市民科を中心に合科的単元を実施します。
- 2・3年…集団の中で一人一人が活躍できるよう、活動を工夫します。延山小学校の子どもとしての意識を高めていきます。
- 4年……子どもたちの世界を広げます。保・幼との連携（スクールステイ）学習で、高めてきた同輩集団の意識を幼児という対象に移し、多様な関わりから世界を広げます。
4年生は、9年間の義務教育の第一段階が終わる学年です。1年生からの4年間で基礎学力と生活習慣とを確実に身に付けさせ、十分な達成感を味わわせることで自己肯定感を育みます。
- 5・6年…一人一人の力を生かし、支え合う共同的な活動を多様に展開します。
上級学校との連携やより実践的な活動を工夫し、主体的に学習や物事に関わっていく力を一層高めます。自己の特性を多様に試す時期でもあります。豊かな関わりと体験から確かな社会性と探求心を育み7年へつなげます。卒業単元を実施し、知的財産を下級生に継承していきます。

工夫と特色 教育活動の

- 地域と協働した教育活動を多様に展開しています。中でも下校時の避難訓練や学校避難所訓練、地域の商店会や企業にお世話になっているお仕事体験は、多様な交流で子どもを育てる地域のネットワークの柱となっています。
- フレンドリーと呼んでいる2学年ペアでの活動を年間を通して実施しています。異学年との関わりを日常的・継続的に行います。
- 金管バンドクラブで子どもたちの興味関心を広げ、得意分野での力の発揮を支えます。学校行事や地域で活動することがあります。

中延小学校

連携グループ 延山小学校・
荏原平塚学園（前期課程・後期課程）



校長 吉川 啓子
所在地 品川区中延1-11-15
TEL 3781-4016 FAX 3781-4063
URL <https://school.cts.ne.jp/nakanobu/>
アクセス 東急池上線「荏原中延」駅下車 徒歩9分



一人一人を大切にしている教育を推進する学校をめざして ～一人一人が名前呼び合える学校～

【小中連携校の教育目標】

好学（まなぶ）…学習に熱心に取り組む **誠意（つくす）**…万人に真心を尽くす **鍛錬（きたえる）**…自ら心身を鍛える

【中延小学校の教育目標】

- よく考えてやりぬく子
自ら学ぶ意欲をもち、粘り強く追究していく児童
- なかよく助け合う子
自他の生命を尊重し、尊厳と個性を認め合う児童
- げんきで明るい子
豊かな心をもち、たくましく生きる児童



元気アップタイム



保小交流（中延保育園）



縦割りボランティア活動

なかのぶ FOR The Future プラン

学校…一人一人が大切にされる学校（一人一人名前呼び合える学校）
友達（人）と関わることを通して、自分のよさを実感し、互いのよさを認め合い、
支え合い、助け合って、だれもが安心して成長できる学校

家庭…教育の原点としての家庭教育の重視
子どもたちが心身共に健康で、調和のとれた発達を図ることができるよう、学校・地域と連携した家庭教育の実現

な…なかま（協働）
か…かんだう・かんしゃ（情操）
の…のびのび（学力・体力）
ぶ…ぶじに帰る（安全）

教諭…「すべては子どもたちの未来のために」を合言葉に心をひとつに教育活動に取り組む使命感とチーム力
よくわかり、できた喜びを実感できる授業
一人一人に応じたきめ細やかな指導
いじめ・体罰の根絶

地域…地域の宝として子どもたちを温かく見守り、サポートして下さる「地域の底力」
コミュニティ・スクールとしての連携とサポート／行事／登下校の見守り等

◆ ICT 教育を推進する学校

GIGA スクール構想に基づき配布されたタブレット端末機を効果的に活用し、進んでもの、ひと、こととつながり一層確かな知識や技能、思考力を身に付けられるようになります。毎日タブレットを使った家庭学習に取り組み、家庭と連携して ICT 教育を推進します。



◆健康教育を推進する学校

- ・**元気アップタイム**（月火木金 午前8時20分～午前8時半）
長縄跳び、マラソン、サーキットトレーニングなどを通して児童一人一人の運動能力・体力向上に取り組んでいます。
- ・**歯みがきタイム**
給食後に全校で食後の歯みがきに取り組んでいます。6月には、学校歯科医と連携して歯みがき指導を行います。

◆保小連携校

中延保育園の0歳児から5歳児までを対象として、全学年で交流活動に取り組み、豊かな心の育成に取り組んでいます。全ての児童に、思いやりの心を育て、責任感や自立心を育てていきます。

◆保護者や地域との連携を推進する

コミュニティ・スクール

各教科の授業や学校行事など様々な場面で、地域の方々から教えていただく機会があります。「昔遊び体験」「ふれあい給食」「地域の防災を守る消防団」「戦争体験の話」など。菜園ボランティアの方と屋上菜園も育てています。これらの活動を通して、地域の方々と一緒に進んで関わる力を伸ばします。

特色ある学校づくり

◆特別支援教育を推進する学校

教科、行事、給食、縦割り班活動、ボランティア活動などを通して、特別支援学級と通常学級との交流を日常生活の中で行っています。お互いに一緒に活動することで学び合い、高め合い、豊かな心が育っています。

◆オリンピック・パラリンピック教育アワード校

オリンピック・パラリンピック教育では「障害者理解」に重点を置いた取組をすすめています。
本年度も体験的な授業や講話などを通じ、「心のバリアフリー」の実現につなげます。

◆学力向上に取り組む学校

一人一台配布されたタブレットを活用した、広く深い学びを工夫し、主体的に学びに向かう力を育てています。
個々の児童の習熟度に応じた指導方法を工夫し、確かな知識、技能の習得に取り組んでいます。



校長 上田 享志
所在地 品川区小山5-10-6
TEL 3781-0044 **FAX** 3781-0319
URL <https://school.cts.ne.jp/koyama/>
アクセス 東急目黒線「西小山」駅下車 徒歩7分
「武蔵小山」駅下車 徒歩8分



【すすんで学習する子】



- **小山検定**
漢字と計算を中心に、全学年を通して取り組む小山の検定テストです。80点以上で合格です。
- **算数習熟度別学習**
3年生以上で実施しています。自分のペースに合わせて、安心して取り組み、着実な学力定着を目指します。
- **伝え合いを大切に学習**
1単位時間の中に相手や場面を意識した伝え合いの時間を取り入れています。
- **プログラミング的思考力を高める学習**
思考力、判断力、表現力を各教科の中で育てます。



◆ **小中連携グループの教育目標** ◆
自立した精神をもち
助け合って生きる
適応力のある
児童・生徒を育てる

(荇原第六中学校・第二延山小学校との連携)



充実した教育環境と
様々な教育活動が
子どもたちを支えます

【協力し助け合う子】



- **鼓笛活動**
6年生全員が取り組みます。友達との練習や5年生への引き継ぎを通し、互いの立場を理解し、協力して演奏しようとする心を育みます。
- **小山まつり**
市民科学習を生かした子どもまつり。主体的にお店の企画・出店を行い、おもてなしの精神を育みます。
- **なかよしタイム**
毎月1回、6年生が計画して縦割り班で活動をしています。林試の森へなかよし探検にも出かけます。
- **保幼小の連携**
荇原西保育園・アライアンス幼稚園・ひまわり幼稚園と学校探検、給食交流などの様々な交流体験をしています。

【心身共にたくましい子】



- **体育集会** 体育授業の他に、ダンス集会など、運動に親しみながら、最後まで取り組む姿勢を育てます。
- **食の教育** 食を知る事は、生涯の健康を守る力です。とうもろこしの皮むき等、体験活動を入れながら食育を取り入れています。
- **歯みがきタイム** 健康な生活習慣のために、学校歯科医や企業の協力を得ながら、歯磨き指導にも力を入れています。



地域・保護者も小山の子を支えます 品川コミュニティ・スクール

● **保護者が支える**
「PTA」「おやじの会」などが、学校行事や学習のお手伝い、「夏祭り」や「餅つき」等々の様々なイベント企画などで応援してくれています。

● **ボランティアが支える**
現役保護者だけでなく、卒業生の保護者、地域有志、卒業生の皆さんも一緒に「読み聞かせ」や図書館の「書架整理」などで応援してくれています。

● **地域が支える**
地域の方々が未来を担う子どもたちのために、夏休みの「ラジオ体操」や「子どもまつり」「防災訓練」などの地域行事で応援してくれています。

第二延山小学校

連携グループ 小山小学校・荏原第六中学校



校長 名本 裕
所在地 品川区旗の台1-6-1
TEL 3781-1348 **FAX** 3781-1579
URL <https://school.cts.ne.jp/enzan2/index.html>
アクセス 東急大井町線・池上線「旗の台」駅下車 徒歩7分
 東急目黒線「西小山」駅下車 徒歩10分



○教育目標○

【小中連携グループの教育目標】

～荏原第六中学校・小山小学校・第二延山小学校～
 自立した精神をもち、助け合って生きる適応力のある児童を育てる

【第二延山小学校の教育目標】

<自学共生>

- ◆進んで学習する子
- ◆協力し助け合う子
- ◆心も体もたくましい子



小中合同地域清掃

○学校経営の基本理念○

【わたし達チームで教える二延小】

～学年団協働システム機能の充実～

- 学年団を基幹組織とし、全教員が協働して指導・研究に当たることで、教師の指導力と教育活動の質を維持・向上させます。
- 協働による多面的な児童理解を図り、組織的な状況に応じた迅速・適切な対応、個に応じた対応を確実に実施します。

【確かな学力と品格を育てる二延小】

～義務教育9年間中の6年間に責任をもつ教育課程～

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成します。
- 「教えて考えさせる授業」の充実による習得学習における主体的で対話的な深い学びを実現します。
- 二延スタンダード（学習規律・生活規律）に基づく指導を徹底し、時と場に応じた礼節を身に付けた児童を育成します。
- 特別支援教室拠点校として、訪問指導教員の指導体制を構築し、「にじいろ」教室と学校としての特別支援教育の充実をめざします。



朝のあいさつ運動

【学校・家庭・地域と共に育てる二延小】

～教育の当事者としての協働～

- 品川コミュニティ・スクールとして、学校・すまいるスクール、PTA・地域が各種行事において、共に関わりながら、子供たちの活動を支援します。（運動会・各種ボランティア、地域行事への参加等）



学校・PTA共催運動会

○校内研究○

研究主題：学習に主体的に取り組む学習者をはぐむ授業デザイン
 ～「教えて考えさせる授業」を通して～

《教えて考えさせる授業》

- 国語を中心に「教えて考えさせる授業」を実践し、授業研究を核として指導法の改善を推進します。
- 認知心理学専攻の先生方からのご指導を受け、児童の理解を第一として位置付け、研究の課題を把握し、実践の成果を検証しています。



校内研究授業



○特色ある活動○

【なかよし班活動】

「なかよし清掃（毎日）」
 「なかよし班遊び（月1回）」
 「全校校外学習（年2回）」
 などを通して、望ましい人間関係を育みます。



全校校外学習

【学習発表会】

児童が一年間の学習の成果を友達・保護者・地域の方々に発表します。（国語・生活科・英語・市民科など）。



学習発表会

【昭和大学との連携】

- 体験学習
 5年生が、医学部・歯学部・薬学部・看護学部に分かれて体験学習を行ったり、昭和大学の先生から命の授業を受講したりします。
- 命の授業
 6年生が、昭和大学の先生を招き、命の大切さについて学びます。
- がん予防教育
 6年生が、体育（保健）「病気の予防」の学習で、がんを予防するために生活上必要なことなどを昭和大学病院の先生から学びます。
- その他
 二延音楽隊が、昭和大学旗が岡祭で演奏します。



校長 西川 幸延
所在地 品川区小山2-4-6
TEL 3781-0890 FAX 3781-0229
URL <https://school.cts.ne.jp/ushiroji/>
アクセス 東急目黒線「武蔵小山」駅下車 徒歩 10分



生きる基盤（土台）づくりを目指す後地小

教育目標

共生社会の実現に参画し、生き抜く児童の育成

【児童目標】 ○深く考える子ども ○じょうぶな子ども ○思いやりのある子ども ○ねばり強い子ども

基盤（土台）づくり

◆学びの基盤

- 「学習のルール10」で学習規律を身に付ける。
- 基礎・基本を繰り返し学習し、身に付ける。
- 自分の考えをもち、表現する。

◆心の基盤

- 「後地スマイル宣言」（笑顔とあいさつ）で仲よく。
- 「挨拶」「返事」「靴そろえ」ではじめをつける。
- 「掃除」で心も美しく。

◆体の基盤

- 東京都体育健康教育推進校としての取組。
- すすんで運動することで健康な体づくり。
- 体育学習の一部をテクニカルアドバイザーと複数体制で指導。

◆立腰（腰骨を立てる）教育

心身の自立をめざして全校で取り組みます。

つながり

◆保育園とのつながり（中原保育園・石井こども園）

様々な学年の児童が交流をします。

◆連携校とのつながり

（荏原第一中学校・小山台小学校・第四日野小学校）

中学校での授業体験や、部活体験、中学校教員による授業、卒業前の中学校教員との市民科授業などを通して実践します。

また、小中の教員が合同で研修を行います。

◆地域とのつながり（コミュニティ・スクール）

開校以来、ずっと地域の支えられてきた力をコミュニティ・スクールの推進に生かしていきます。

教職員ポリシー

- ◆「全ての教職員で全ての子どもを育てる」 学校が一体となって、子どもを育てます。
- ◆「切磋琢磨」授業力を高める 「わかる」「おもしろい」「ためになる」授業を目指して教員同士が切磋琢磨し、授業力を高めます。
- ◆「率先垂範」と「和顔愛語」 子どもの良きモデルとなるように努めるとともに、親しく関わります。

後地小学校は 新しくなりました

- ◆ 令和3年2月に校庭が完成し、新しい校舎で楽しく学習できます。
- ◆ 令和2年度の新入生から、小山三丁目が後地小学校の通学区域になりました。



「後地スマイル宣言」
（笑顔と挨拶）



新校舎



体育館



立腰教育（姿勢指導）



校長 深尾 剛
所在地 品川区旗の台1-11-17
TEL 3781-4841 FAX 3781-4838
URL <https://school.cts.ne.jp/smizudai/>
アクセス 東急大井町線・池上線「旗の台」駅下車 徒歩4分



【教育目標】

- ・かしこい子
- ・やさしい子
- ・元気な子

All for one ! One for all ! ~あなたもわたしも大切な一人~

○自ら学ぶ子の育成

ICT機器を効果的に活用して基礎・基本の徹底を図り、「わかりたい」「できるようになりたい」「やってみよう」という意欲や「思考力・判断力・表現力」の伸長、自力で問題解決ができる力を育てます。

○自尊感情をもち、自他を大切にできる子の育成

たてわり班活動をはじめ、人とのかかわりを重視したふれあい教育の充実を図り、挨拶、礼儀やマナー、思いやり、人権感覚などを育てます。

○健康・安全を意識し、すすんで体を鍛える子の育成

遊びの中から体を動かすことの楽しさを体得し、運動や健康教育に取り組む中で、あきらめない気持ちや生活習慣を身に付け、健康でたくましい体力およびチャレンジ精神を育てます。

【特色ある教育活動】

◆ふれあい教育の推進

たてわり班活動をはじめ、異学年活動や異校種交流活動、地域の方々との交流活動等、人と人が関わり合う活動を大切にし、思いやりの心を育て、社会的ルールを身に付けさせ、豊かな人間性を育みます。



【あいさつ運動】



【たてわり清掃】

◆ICT教育の推進

各教室に配置されたICT機器を活用した授業を行い、思考力・判断力・表現力を高めています。また、児童一人に一台タブレット端末を配備し、個に応じた授業展開や家庭学習の定着につなげています。



【タブレット端末の活用】



【電子黒板の活用】

◆読書活動の推進

読み聞かせボランティアによる「お話会」、図書館運営スタッフや教員、児童による「読み聞かせ」など様々な読書活動を通して読書の習慣を身に付けて、豊かな心を育てています。



【教員による読み聞かせ】



【ボランティアによるお話会】

◆国際理解教育の推進

世界の多様な国々の歴史や文化を学ぶとともに、留学生や外国人等との交流を促進し、世界各国の人々とコミュニケーションを図ろうとする態度や豊かな国際感覚を養います。(感染症予防対策のため、昨年度は中止)



【大使館との交流】
(インドネシア)



【グローバル給食】
(ブラジル)



校長	伊藤 健治		
所在地	品川区小山台1-18-24		
TEL	3712-7587	FAX	3712-7850
URL	https://school.cts.ne.jp/koyamada/		
アクセス	東急目黒線「武蔵小山」駅下車 徒歩 5 分		



林試の森公園の近くに立地する本校は、身近で自然体験できる良い環境に恵まれ、子どもたちは主に小山台の3つの町会から通学してきます。(開校 昭和 29 年・児童数 326 人・学級数 12)

教育目標

『健康な心とからだ、学ぶ力を育てる小山台小学校』

< 表現する子 >

< 共に生きる子 >

< 行動する子 >

「表現することを重視して」一意欲は「自己肯定感」から生まれます。実績に裏打ちされた自己肯定感をもつためには、挑戦する力、発信する力が必要です。自分の思いをしっかりともち、他者に伝える力の基本となる言語活動を大切にしながら、主体的に人と関わるための資質と能力の育成を目指します。

【自己肯定感を高めるために】



6年生は自分の夢や思いを原稿にまとめ、卒業までに全員が、全校朝会でスピーチをします。

一人一人のスピーチの準備には、担任が指導に当たり、リハーサルも行います。

また他の学年の子どもたちも、学級でスピーチに取り組んでいます。



品川コミュニティ・スクールとして保護者・地域と協働して教育活動を豊かに展開し、特色ある学校づくりをします。本校独自のボランティア組織「Team小山台」の取組や「まちたんけん(写真上)」など、保護者・地域との信頼関係を深めながら、国際社会で活躍できる児童を育てます。



高い規範意識と人権感覚をもちながら自らの生き方を考え、自ら進路を切り拓ける児童の育成を目指します。市民科学学習をはじめ、上級生による下級生のお世話やボランティア活動などを通し、人の役に立つためにすすんで行動できる態度を育みます。

『国際社会で活躍できる人材を育成する』

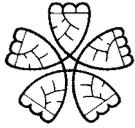
小山台の英語教育

- ・文脈の中で言語を体得する Story-based Approach による生きた英語の獲得を目指します。
- ・音と文字の関係を丁寧に教えていくリテラシー(読み書き)教育を推進します。
- ・人権尊重を基盤として異文化や自国文化理解の推進による「グローバルな人材」の基礎づくりをします。



学力の育成

- ・学習意欲を高め考える授業づくりを工夫し、主体的・対話的で深い学びを目指します。
- ・英語をはじめ全教科において言語活動の充実を図ります。
- ・東京ベーシックドリルを活用し、反復練習を習慣付けながら全児童の基礎・基本の定着を目指します。
- ・少人数・習熟度別学習、夏季学習会などで個別の学習支援を強化します。



校長	米塚 裕貴		
所在地	品川区平塚3-16-26		
TEL	3782-7770	FAX	3782-9137
URL	https://school.cts.ne.jp/ebahi-g/		
アクセス	東急池上線「戸越銀座」駅下車 徒歩 7分 東急目黒線「武蔵小山」駅下車 徒歩 10分		



学園が要となって4つの力を生かします！

《本校の特色》

ブロックごとに複数教員で指導する「えばひらハウス方式」で、児童・生徒を見守ります。

【9年間を通しての学力づくり】 ～学力の定着と向上・自学自習の体得～

- 指導助手による支援や習熟度別学習、放課後補習教室などを展開し、個に応じた指導を進めています。
- 放課後補習教室では、受験対策としての「えばひら合格塾（英語と数学）」や英検合格を目指す「英検合格塾」、英語に親しむことから始める「英語教室」などを展開しています。
- 5年生から教科担任制を取り入れたり、定期考査を実施したりすることで後期課程へスムーズに移行できるようにしています。

【9年間を通してのつくり】 ～多様な関わりと豊かな人間関係～

- 9年間のつながりを意識した市民科学習を展開し、系統的に人間性や社会性を育みます。
- 市民科学習では、日本文化の礼儀作法を知る機会として、「茶道教室」を全学年で実施しています。
- ふれあいボランティアバスポートを活用したボランティア活動を積極的に行い、自助・共助の力を身に付けさせます。
- 異学年交流活動（交流給食・交流遊び・地域清掃）やにこにこ班活動（1～4年）を通して、思いやりの心を育みます。

チームえばひら（学園の教育目標と4つの力）

好 学 - 学習に熱心に取り組む



・放課後学習 ・勉強会（8年）等

誠 意 - 万人に真心を尽くす



・ボランティア活動 ・茶道教室 等

鍛 錬 - 自ら心身を鍛える



・部活動 ・体育朝会 ・マラソン大会 等

PTA の力



・自転車安全教室 ・えばひら夏祭り ・祭礼パトロール
・えばひらもちつき ・学年活動や親子レク 等

コミュニティ・スクールの力



・校区教育協働委員会 ・学校支援地域本部
・図書や茶道、学校花壇等のボランティア活動 等

関係機関の力



・品川区教育委員会 ・教育総合支援センター ・警察や消防
・子ども家庭支援センター ・児童相談所 等

地域の力



・21町会との連携（防災学習・地域清掃・町会行事 等）
・荏原第三地区の活動（区民まつり・防災訓練 等）

卒業生の進路

- 〈国立〉 日比谷 小山台 三田 雪谷 田園調布 大崎 八潮 大森 美原 戸山 駒場 青山 目黒 桜町 新宿 向丘 国際園芸 工芸 芝商業 大田桜台 大江戸 杉並総合 六本木 産業技術高専 永福学園 港特別支援 ほか
- 〈私立〉 大森学園 関東国際 慶應義塾 慶應志木 國學院 駒澤 駒場学園 品川エトワール女子 品川翔英 下北沢成徳 淑徳 自由が丘学園 正則 専修大附属 創価 早大高等学院 東海大高輪台 東京 東京実業 東農大一 桐朋 東洋 日大櫻丘 日大鶴ヶ丘 日本体育大荏原 朋優学院 明治学院 目黒学院 立正大立正 早稲田実業 ほか

大原小学校

連携グループ 戸越小学校・豊葉の杜学園（前期課程・後期課程）



校長 隈部 洋子
 所在地 品川区戸越6-17-3
 TEL 3781-4487 FAX 3781-4808
 URL <https://school.cts.ne.jp/oohara/>
 アクセス 東急大井町線「戸越公園」駅下車 徒歩3分
 都営地下鉄浅草線「中延」駅下車 徒歩5分



コミュニティ・スクールの推進

- ◆校区教育協働委員会（学校運営の参画）
- ◆ふるさと大原支援本部（教育成果を高める支援）

【地域とのつながり】

- ◆ふれあいまつり、花火大会（PTA）
- ◆地域防災避難所訓練、公園花苗植え作業（町会）
- ◆お店体験（商店街）



学校の概要

- 敷地 5.118m² ●校舎 3.822 m²
- 普通教室 12 ●特別教室 8
- 児童数 309名 ●学級数 12
- 職員数 48名 ●PTA会長 小林 芳行
- 同窓会会長 川島 浩
- 地元町会 戸越5・6丁目 豊町5・6丁目
東中延2・3丁目
- 大正15年11月8日開校 本年度96周年
- 親子4世代にわたって大原小に通う家庭もあり、「ふるさと大原」として親しまれています。商店街もあり、地域に密着した学校です。

知力と心を育む

【確かな学力の定着（生活指導と一体化した学習指導）】

- ◆学習規律を守り、落ち着いて学習できる環境づくり
- ◆個性や長所、可能性を發揮できる教育活動の展開
- ◆指導の質を高め、ICTなどを活用したよく分かる授業
- ◆言語能力向上を目指し、自分の考えを伝える活動や英語における表現活動の重視



人間関係づくり

【自尊感情を高める教育活動】

- ◆市民科集会、凸凹タイム、遠足（異学年交流）
- ◆なかよし集会、いいことみつけ集会
- ◆英語インタビュー in 鎌倉（5年生）
- ◆代表委員会選挙（立会演説会の実施）



体と心を鍛える

【体力・運動能力向上、健康増進の活動】

- ◆朝のスポーツ健康タイム（始業前に運動）
- ◆全校体力テスト、スポーツトライアルの実施
- ◆投げ方教室（元プロ野球選手による指導）
- ◆走り方教室（地区マラソン大会に向けて）
- ◆歯磨きの習慣化（給食後に毎日歯磨きを実施）



大原小の一貫教育

【自信をもって進学するために】

- ◆卒業生の進路→近隣・私立中学へ分散化
- ◆どの中学校・義務教育学校に進学しても、大原小で学んだことを誇りに、生き生きと活躍できる児童の育成





校長 齊藤 直彦
 所在地 品川区戸越4-5-10
 TEL 3781-4386 FAX 3781-4587
 URL <https://school.cts.ne.jp/miyamae/>
 アクセス 東急大井町線「戸越公園」駅下車 徒歩5分
 都営地下鉄浅草線「戸越」駅下車 徒歩7分
 東急池上線「戸越銀座」駅下車 徒歩10分



宮前小学校基本理念

「夢を抱き」「実現する」ための環境をつくり、能力を育む学校教育

夢を抱くために ▶ ほめて伸ばす

多くの成功体験を通し、自己肯定感の高い子どもを育てる学校

実現するために ▶ 確かな学力を身に付ける

積み重ねた知識・技能を活用し、深く考え、表現できる子どもを育てる学校

子どもが輝く学校

- 自分、友達、先生、学校が大好きと感じる。
- 自分のよさに気付き、そのよさを発揮する。
- 自分や友達を大切にす。

自己肯定感の育成・向上

教職員が輝く学校

- 子どものよさを見付け、成長に喜びを感じる。
- 一丸となって課題解決に立ち向かう。
- 教育者のプロである自覚と誇りをもつ。

教育目標(一貫教育目標) 戸越台中学校連携校

すすんで学ぶ 心豊かに たくましく

教育目標を達成させるための具体的な方策

効果的で質の高い教育活動

- 学校規律の徹底
- 学習しやすい教室環境づくり
- 子どもの発想を生かす授業
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 思考力・判断力・表現力の育成
- 校内研究の充実
- 区費講師・指導助手・学習支援員の活用
- 学校図書館の充実
- 指導改善を大切にする授業(教科担任制・少人数指導)
- 市民科の取組(一貫プランの実施)
- 特別支援教室との連携(すぎの子学級の充実)
- 縦割り班活動の充実
- 成功体験を感じる行事指導
- オリ・パラ教育の推進(レガシー)
- ICT教育の推進(プログラミング教育の実施)
- 体力向上に関する取組(テクニカルアドバイザー)

開発的・予防的な生活指導

- 生活規律の徹底
- 個性を生かし、自他の良さを認め合える学級づくり
- 「学校のきまり」に基づく一貫性のある指導
- あいさつ・礼儀作法の重視
- いじめ防止基本方針に基づく迅速な初期対応
- スクールカウンセラーや巡回相談員との連携

CSを基盤とした一丸となった学校運営

- 危機意識をもった学校体制での課題解決
- 品川コミュニティ・スクールの推進
- 地域教育力の活用(学校支援地域本部の運営)
- 校区教育協働委員会による学校評価



特色ある教育活動

◆キャリア教育(文部科学大臣表彰校)

立正大学法学部・明るい選挙推進協議会と連携した模擬選挙を本校独自に展開したり、地域の商店街や施設の協力を得て、「働くことの意義」を学んだりしています。



◆縦割り班活動

1年生から6年生までの班全員によるあいさつ運動の他、清掃活動や縦割り班遊びなど、日常的に交流しています。





校長	金児 京子		
所在地	品川区中延6-2-18		
TEL	3781-4348	FAX	3781-4383
URL	https://school.cts.ne.jp/genjimaie/		
アクセス	東急大井町線「中延」駅下車 徒歩5分 都営地下鉄浅草線「中延」駅下車 徒歩5分		



国際社会で羽ばたき、

力強く豊かな生活を送ることができる人材の育成

教育

源氏前小学校の目指す子ども像は、子どもの自己肯定感や自尊感情を高揚させる教育活動を通し、

- ・自ら学習に励む児童
- ・自律と自立のできる児童
- ・自らの手で進路を選択できる児童
- ・思いやりの心をもって行動できる児童

です。そのために体験学習をたくさん取り入れた教育活動を展開し、確かな学力を身に付けさせます。

《教育活動》

- ICT教育（1人1台タブレット端末を配布）
- 英語教育
- 算数少人数習熟度別学習
- スポーツトライアル
- しながわ学校 2020 レガシー（共生） など



校内研究

源氏前小学校は、児童がICT機器を日常的に活用して学習を進めていける技術や能力を育成するための指導方法の工夫等を研究のねらいとしています。

【研究テーマ】

「ICT機器の日常的な活用によるGIGAスクール構想の実現」

- 「計画・提案」→「実践」→「検討・改善・共有」→「実践」をサイクルとした取組。
- 家庭・地域と連携した活用方法の検討と実践。



家庭や関係機関との連携

源氏前小学校は、保護者や関係機関と共に連携を行っています。

- 学習規律およびしつけを保護者と共に身に付けさせます。
- 家庭学習を習慣化させます。
- 【学年×10分+10分】
- タブレット端末を活用した家庭学習支援を行います。
- 荏原第五中学校との小中連携をしています。
- 保幼小との連携（スクールステイ）を図っています。



地域活動

源氏前小学校は、地域と共に活動を行っています。

- 荏原第四地域夏祭り
- 地域マラソン大会
- 地域、幼稚園・保育園の運動会会場
- 地域の防災拠点校（避難所訓練、総合防災訓練）



源氏前小学校は、=火=火の子どもたちを大切にしている学校です。教職員全員で=丸=丸となって指導します。



【全校遠足】



【体育学習発表会】



【展覧会】



【音楽会】



校長	矢田 雅久		
所在地	品川区豊町2-1-20		
TEL	3781-2856	FAX	3781-2949
	3781-2862 (ことばの教室)		
URL	https://school.cts.ne.jp/togoshi/		
アクセス	東急大井町線「戸越公園」駅下車 徒歩 5分 都営地下鉄浅草線「戸越」駅下車 徒歩 8分		



戸越公園と文庫の森に囲まれた、緑豊かな恵まれた環境の中で、豊かな人間性を育みます。

子どもたちが何ごとにも前向きに取り組み、「当たり前なことが当たり前ができる」児童の育成を行っています。

教育目標

みがこう 知恵と判断力
身に付けよう 思いやりの心とルール
鍛えよう 心と体

目指す学校像

- 誰もが子どもや孫（大切な人）を入れたくなる学校
- 学ぶ楽しさと学ぶ喜びを見いだせる学校
- 保護者・地域の期待に応え、信頼される学校
- 心身の安全・安心が守られ、健康に生活できる学校
- 教育環境が整備され、規則正しく節度のある学校

☆ 重点施策

1. 規範意識の向上と定着

- ① 当たり前のことを当たり前
- ・新型コロナウイルス感染予防対策を万全にする
 - ・集団生活のルールを守り、相手の気持ちを考えて言動する
 - ・話を聞く時には、黙って話を相手を見て聞くことができる
 - ・あいさつの奨励と定着
 - ・話し合い活動では、相手の話をよく聞くとともに、自分の考えをしっかりともち、周囲のことや他の人々のことも考えながら堂々と発表できる
 - ・公共の場では、ルールを守り、節度のある行動がとれる
- ② 戸越スタンダードの徹底
- ・学習、生活、給食、清掃 等
- ③ 人権意識の向上と徹底
- ・いじめの早期発見、早期対応、徹底解決
 - ・日々の児童観察や児童との信頼関係の構築による深い児童理解
 - ・市民科の充実

2. 学力・体力の向上と定着

- ① 学力の向上と定着
- ・各種学力調査の徹底分析と児童の実態に合った、施策の立案と実施
 - ・学習規律の徹底
 - ・2年生からの算数習熟度別学習
 - ・各種補習体制の充実（2～5年生はCSの地域未来塾（サマースクール）（木曜補習タイム）
 - ・ICTを活用して
 - ・帯の時間（朝、昼 15分学習）の活用
 - ・英語、プログラミング学習、iPadを活用した学習の推進
- ② 体力の向上と定着
- ・日々の姿勢体操
 - ・体育では楽しさ体験と日常化をめざした生き生き授業
 - ・ワンミニッツエクササイズ、体育的活動の充実、集団行動の定着



3. 楽しい学校づくり

- ① 人工芝の校庭でたっぷり遊んで、体力とコミュニケーション能力の向上を・・・
- ・中・昼休みは児童を学年別にしてゆったり、のびのび安全に
 - ・放課後の校庭開放（多い日は、たっぷり2時間30分）

4. ワクワクドキドキ体験学習

- 触覚で学ぶ
- ・ゲストティーチャーによる体験学習（各教科の年間指導計画に組み込み、1年生から卒業までに、50以上の体験学習を実施しています）

ジャズや金管のコンサート・エコルとごしパネルシアター・朗読劇・江戸切子・FC東京サッカー教室・ヤクルト野球教室・落語教室・救急救命法・大使館交流・早稲田大学ツアー・食育・剣道教室・和楽器教室・模擬選挙体験等

☆ コミュニティ・スクールによる地域や保護者のボランティア（読み聞かせ、学習支援、水泳、引率等）



ヤクルト野球教室



大使館交流



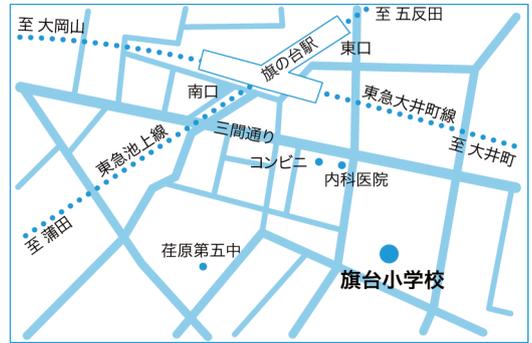
落語教室



ジャズコンサート



校長 遠藤 和朗
 所在地 品川区旗の台4-7-11
 TEL 3785-1687 FAX 3785-1753
 URL <https://school.cts.ne.jp/hatano/>
 アクセス 東急池上線・大井町線「旗の台」駅下車 徒歩3分



自ら学び、自ら行動する児童・生徒の育成

【一貫教育目標】

- ・教養ある人
- ・心豊かな人
- ・健康な人



◆本年度の研究テーマ

伝え合う力を高め、『学び合う子ども』の育成
 ～話す力・書く力・つなぐ力を育てる活動の工夫～

【基礎・基本を生かして学びを深める教育活動の推進】

- 1～4年生
 学習の仕方を理解し、基礎・基本の学習を身に付ける。
 学習する楽しさを味わい、自分の力でやり遂げる。
- 5・6年生
 学習課題を把握し、問題解決する方法を身に付ける。
 自ら挑戦し、成果を確かめ、新たな課題を見付ける。

◆コミュニティ・スクールの推進

- ・コーディネーターを中心に教育活動の「わ」を広げる。

◆学力を支える学習規律の徹底

- ・学習用具の準備、授業時の挨拶など学習への構え
- ・発表の仕方・話の聞き方
- ・「旗台小のきまり」(iPadのルールも入りました)

◆話し合い・学び合いの充実

- ・全体やグループでの話し合いの仕方
- ・自分の考えの表現方法・相手の考えの受け止め方
- ・認め合い・高め合う学習活動

◆学習内容の定着の仕組み

- ・ノートの書き方指導
- ・スタディタイム(補習)
- ・家庭学習の習慣化



◆学習意欲を高める指導

- ・考える力を育む授業
- ・自主学習の推進
- ・各種学力調査のフォローアップ
- ・家庭学習・「学び」の推進

【児童数】

令和4年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
児童数	50	47	64	45	61	56	323

特色ある教育活動

【教養ある人】を育てる

- ◆基礎学習の定着
 基礎・基本の時間(国語・算数)
 1・2年生 サントレ学習
- ◆読書活動の充実
 全校で取り組む読書記録
 ブックトークや読み聞かせ
- ◆学力の向上
 習熟度別少人数指導(算数)
 教科担任制(社会・理科)
 JTE(日本人英語指導者)・
 ALT(外国語指導助手)による
 英語学習
 プログラミング学習
 iPadを活用した学習



【健康な人】を育てる

- ◆がんばりめく心と体「運動会」
 伝統の「旗台ソーラン」
- ◆運動の習慣を付ける朝運動
 マラソン
 品川スポーツトライアル
 チャレンジジャンプ(長縄)
- ◆健康づくり
 「いきいき貯金通帳」長期休業中



【心豊かな人】を育てる

- ◆人との関わり
 「あいさつ運動」「ふれあい給食」
 「旗台フェスティバル」
 幼稚園・保育園との交流
 たてわり班活動・たてわり挨拶
- ◆市民科指導の充実
 話し合い活動の充実
 いじめのない集団づくり
 市民科ノートの活用



保護者や地域の方の声

「1年生の学習では、集中しきれていない時も無理なく授業に引き戻し、「楽しく学ぶ」ことができていて、安心しました。」

「英語の学習では、担任の先生だけでなく、複数の教員で丁寧に指導しているので、子どもたちが抵抗なく楽しそうに学んでいました。」

「運動会の伝統の旗台ソーランは、みんなが一つになって練習してきた成果が見られてとても感動しました。下級生のあこがれとなっています。」



校長	甲斐 正教		
所在地	品川区二葉4-4-10		
TEL	3781-4792	FAX	3781-5047
URL	https://school.cts.ne.jp/kamishin/		
アクセス	東急大井町線「中延」駅下車 徒歩7分 都営地下鉄浅草線「中延」駅下車 徒歩5分		



一人一人の個性と適性を大切にし、きめ細やかに指導する地域密着型小学校！

1. 教育目標

自ら学び続ける子

「自ら」という言葉は自主性や主体性を求めます。「続ける」という言葉に日常性や継続性を求めています。豊かな人生を送るために生涯を通して学び続ける力を育てます。

心広く行動する子

「心広い」とは人や価値に対して寛大ということです。人間は自分たちとは違った人や価値観を排除せず、違いを受け入れて共存できる実践力を高めます。

健やかに育つ子

心身の健康は、自分一人の努力で実現するものではありません。学校・家庭・地域で協力し合って子どもたちを見守ります。

2. 本校の特色

☆一人一人の見とりを大切にした学習指導

「主体的に学ぶ児童の育成」をめざして、諸調査や観察、専門家の助言等を生かした指導改善に組織的に取り組みます。

特別支援学級設置校、特別支援教室拠点校としての強みを生かして児童一人一人の特性に応じた授業改善を行っています。



特別支援学級「ほほえみ」



特別支援教室「ふたば」

☆小規模校のよさを生かした人間関係づくり

1クラスは20～30名規模で全校児童の顔と名前をすぐ覚えらるアットホームな学校です。小規模校の良さをいたるところで活かした教育活動を展開します。



全校遠足

全校遠足では、林試の森公園までの往復約7kmを全校児童が歩きます。公園では、なかよし班ごとにお弁当を食べたり、協力してポイントハイクを行ったりして全校児童が交流します。帰り道には励まし合う姿が見られます。最後には心地よい達成感を味わうことができます。

☆保小連携の充実と一貫教育の推進

全学年で保育園児との交流活動を行います。低学年児童が先輩として小学校を案内する姿はとても微笑ましいです。

中学年は上神明小学校伝統のどろだんご作り、高学年は水泳を一緒に行い保育園児と交流します。

高学年児童は中学校授業体験、部活動体験、合唱祭参加などを通して中学生と交流します。小学生のうちから中学校生活への見通しをもち、心構えを身に付けます。



小中合唱交流



学校探検



ぶどう祭り



もちつき大会



品川地域未来塾

☆充実したコミュニティ・スクールの活動

本校は、PTA・地域との連携が強みです。地域・卒業生・保護者・教職員が「チーム学校」として子どものために活動しています。図書ボランティアや家庭科の授業のサポートなど、たくさんの方に支えられています。また、ぶどう祭り、もちつき大会、デイキャンプなど地域に密着した行事も盛りだくさんです。

放課後の「品川地域未来塾」では、ボランティアの大学生が児童の学力向上に貢献しています。

連携グループ 大原小学校・戸越小学校・豊葉の杜学園（後期課程）



校長 二宮 淳
 所在地 品川区二葉1-3-40
 TEL 3782-2930 FAX 3782-1497
 URL <https://school.cts.ne.jp/hoyomori/>
 アクセス 東急大井町線「下神明」駅下車 徒歩3分



児童／生徒数（令和4年5月1日現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援学級		合計
										1～6	7～9	
児童・生徒数	97	92	92	89	96	92	148	134	149	16	16	1021
学級数	3	3	3	3	3	3	4	4	4	2	2	34

校訓 進取・忠恕・壮健

目指す児童・生徒像

未来を創造する協働的リーダーシップ
 困難を乗り越えるレジリエンス

教育目標

- ・自分の将来を見据え、自らすすんで学ぶ（知）
- ・自分に誠実に向き合い、他者に思いやりの気持ちをもつ（徳）
- ・将来を築くための良い習慣を身に付けるとともに、心身の健康増進に努め、命を守る（体）

15年間教育の推進



○二葉すこやか園（ふたば幼稚園・つぼみ保育園）と連携を強化し、15年間一貫した教育を推進します。

本校の標準服



施設の充実



- 各教室でICTおよびタブレットを活用した授業を展開します。
- 温水プールを活用し、年間を通した水泳指導を実施します。
- 和室を活用し、茶道や琴を指導します。

オリンピック・パラリンピック教育の推進



○東京オリンピック・パラリンピックを終え、レガシーとして、体力の向上、運動・スポーツ・文化に親しむ態度を育てます。

異学年交流



- 1年生から9年生まで、様々な行事を通して関わりを深め合います。
- 二葉すこやか園および二葉保育園と保幼小交流を実施しています。
- スクールステイ事業を実施します。

特色ある教育活動（行事）



○1年生から4年生まで、5年生から9年生までに分かれて運動会・学習成果発表会を行います。各学年の発達段階に合わせ、集団での達成感を味わわせます。1年生から9年生までが温かく交流する姿が見られます。

5年生から参加できる部活動



○技能や技術を高め、個性を伸ばします。
 ☆運動部 野球・サッカー・陸上・卓球・バスケットボール・バレーボール・テニス・ダンス
 ☆文化部 雅楽・吹奏楽・数学・美術・競技かるた・地域活動

品川コミュニティ・スクールの取組



○児童・生徒が特技や好きなことを伸ばし、互いに高め合うことのできる取組を行っています。
 ☆HYM科学研究所、HYM English Advance club、HYM計算道場など

地域貢献



○市民科で学んだ力を町会や地域で発揮する児童・生徒を育てます。

令和3年度の主な合格先一覧

【国立・都立高等学校】 東京工業大学附属科学技術、東京工業高等専門学校、青山、永福、園芸、大崎、工芸、国際、駒場、小山台、桜町、城東、世田谷総合、田園調布、日比谷、広尾、三田、港特別支援学校、美原、目黒、八潮、雪谷、六本木など

【私立高等学校】 青山学院、郁文館、大森学園、かえつ有明、科学技術学園、関東国際、関東第一、京華、國學院、国土館、駒込、駒場大学、駒場学園、品川エトワール女子、自由ヶ丘学園、淑徳巣鴨、青稜、多摩大学目黒、中央大学、中央大学杉並、中央大学附属、桐蔭学園、東京、東京実業、東京女子学園、東京成徳大学、東京都市大学等々力、東京農業大学第一、東洋、トキワ学園、豊島学院、日本体育大学荏原、日本大学第二、日本大学鶴ヶ丘、文教大学附属、法政大学国際、法政大学第二、朋優学院、明治大学付属中野、明治大学付属明治、目黒日本大学、立志舎、立正大学附属立正、早稲田大学本庄高等学院など

指定校変更許可基準

基準番号	許可基準	添付書類	留意事項
1	指定校への通学が、距離・時間・通学上の安全確保などの観点から支障があると認められる場合		
2	おおむね1年以内に品川区内で転居が確定していて、あらかじめ転居先の指定校に通学させることが望ましいと判断される場合	・ 転居先住所の記載された売買契約書、賃貸借契約書など	
3	保護者の就労などの理由により下校時または登校前にやむを得ず児童を近親者などに預けざるを得ない場合 (1～6年生に限る)	・ 近親者などの預かり同意書、保護者の就労、営業など状況を確認できるもの ・ 親族関係が証明できる証明書 (戸籍、住民票など)	近親者などとは親族関係があるものに限る。
4	慢性疾患などで長期間・定期的に通院治療を必要とし、かつ、診療時間の関係により、病院の最寄りの学校へ通学する必要があると認められる場合	・ 診察券、診断書など	自宅、学校および病院の距離・地理関係について確認が必要
5	その他教育委員会が特に必要と認めた場合	状況に応じて適宜提出	客観的判断による。

※必要に応じて上記以外の書類を提出していただく場合があります。

※学校の状況によっては、希望校への受入れができない場合があります。

品川区立小学校・義務教育学校（前期課程）通学区域

※ ○○学園は「義務教育学校」を表します。 青文字は通学区域の改正があった住所です。

1	城南小学校	東品川 南品川	3丁目 (22番～27番) 4丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)	9	第四日野小学校	西五反田 上大崎 小山台 小山	3丁目 (6番、10番～16番) 4丁目 (全域) 5丁目 (1番、7番～14番) 5丁目 (23番～29番) 4丁目 (全域) 1丁目 (32番1号～7号) 1丁目 (32番19号、20号) 1丁目 (33番5号～14号) 1丁目 (1番2号～7号) 1丁目 (2番1号) 1丁目 (3番5号～10号、28号)
2	浅間台小学校	南品川	5丁目 (1番～12番) 6丁目 (全域)	10	台場小学校	北品川 東品川	1丁目 (全域) 2丁目 (1番～19番) 2丁目 (20番1号～11号) 2丁目 (20番18号～25号) 2丁目 (21番～29番) 2丁目 (30番10号～28号) 2丁目 (34番3号～5号) 1丁目 (1番～29番) 2丁目 (全域)
3	三木小学校	西品川 戸越	1丁目 (1番～24番、27番) 2丁目 (1番～8番) 2丁目 (9番3号～14号) 2丁目 (10番～24番) 3丁目 (全域) 1丁目 (26番1号～4号) 1丁目 (26番25号、26号) 1丁目 (27番1号～12号) 1丁目 (29番1号～10号) 1丁目 (29番29号～35号) 1丁目 (31番)	11	日野学園	東五反田 大崎 西五反田	1丁目 (全域) 2丁目 (1番～15番) 3丁目 (全域) 5丁目 (27番、28番) * 5丁目 (2番) 1丁目 (1番～10番) 2丁目 (1番～21番)
4	御殿山小学校	北品川 東五反田	4丁目 (全域) 5丁目 (全域) 6丁目 (全域) 2丁目 (16番～22番)	12	品川学園	北品川 南品川 広町	3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 1丁目 (全域)
5	城南第二小学校	北品川 東品川 南品川 東八潮 八潮	2丁目 (20番12号～17号) 2丁目 (30番1号～9号) 2丁目 (31番～33番) 2丁目 (34番1号、2号) 1丁目 (30番～39番) 3丁目 (1番～21番) 3丁目 (28番～32番) 5丁目 (全域) 1丁目 (全域) 1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)	13	大井第一小学校	大井	3丁目 (18番～27番) 4丁目 (全域) 5丁目 (2番～12番) 5丁目 (17番～25番) 6丁目 (全域) 7丁目 (4番～6番) 7丁目 (13番～16番) 7丁目 (18番～30番)
6	第一日野小学校	西五反田 荏原	1丁目 (24番～33番) 2丁目 (22番～32番) 3丁目 (7番～9番) 5丁目 (2番～6番) 5丁目 (15番～22番) 5丁目 (30番～32番) 6丁目 (全域) 7丁目 (全域) 8丁目 (1番～3番) 1丁目 (1番2号、3号) 1丁目 (2番1号～4号) 1丁目 (2番16号、17号) 1丁目 (5番1号～7号、20号) 1丁目 (6番1号～4号、15号) 1丁目 (9番1号～4号) 1丁目 (9番13号、14号) 1丁目 (10番1号～6号、14号) 1丁目 (13番1号～4号) 1丁目 (14番1号～7号) 1丁目 (14番13号～15号)	14	鮫浜小学校	東大井	1丁目 (全域) 2丁目 (全域)
7	芳水小学校	西五反田 大崎	1丁目 (11番～23番) 8丁目 (4番～12番) 1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域) * 5丁目 (2番)	15	山中小学校	広町 大井	2丁目 (全域) 1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (1番～17番)
8	第三日野小学校	上大崎 東五反田 西五反田	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (1番～26番) 3丁目 (1番～5番)	16	立会小学校	南品川 東大井	5丁目 (13番～16番) 3丁目 (1番～17番) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域) 6丁目 (1番～11番)
	(右へつづく)			17	浜川小学校	東大井 南大井 勝島	3丁目 (18番～29番) 6丁目 (12番～17番) 1丁目 (1番～17番) 4丁目 (1番～13番) 5丁目 (1番～15番) 1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)
				18	伊藤小学校	西大井	4丁目 (8番～25番) 5丁目 (全域) 6丁目 (2番～18番)
				19	鈴ヶ森小学校	南大井	1丁目 (18番～22番) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (14番～20番) 5丁目 (16番～27番) 6丁目 (全域)
				20	伊藤学園	大井 西大井	5丁目 (1番、13番～16番) 5丁目 (26番～28番) 7丁目 (1番～3番) 7丁目 (7番～12番、17番) 1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (1番～7番)
					(次へつづく)		

*フリーゾーン地域

21	八潮学園	八潮	4丁目(全域) 5丁目(全域)	32	宮前小学校	戸越	1丁目(1番~18番) 2丁目(1番~5番) 2丁目(6番23号~30号) 3丁目(全域) 4丁目(1番、2番) 4丁目(3番1号~5号) 4丁目(3番19号~28号) 4丁目(4番3号、4号) 4丁目(4番15号~24号) 4丁目(5番~9番) 5丁目(1番~7番) 5丁目(10番~17番) 5丁目(18番1号~9号) 5丁目(18番14号~20号)
22	京陽小学校	荏原 平塚	1丁目(15番~18番) 1丁目(20番~23番) 2丁目(1番~3番) 2丁目(9番、18番) 1丁目(全域) 2丁目(全域) 3丁目(全域)	33	源氏前小学校	中延 東中延	3丁目(8番、9番) 3丁目(12番、13番) 4丁目(全域) 5丁目(3番~6番) 5丁目(13番~15番) 6丁目(全域) 2丁目(7番~10番)
23	延山小学校	旗の台 中延 西中延 東中延	2丁目(2番、3番) 2丁目(8番~17番) 3丁目(1番~7番) 3丁目(10番、11番) 2丁目(全域) 3丁目(全域) 1丁目(9番~12番) 2丁目(1番~6番)	34	戸越小学校	西品川 戸越 豊町	2丁目(9番1号、2号) 2丁目(9番15号~22号) 1丁目(19番~25番) 1丁目(26番5号~24号) 1丁目(27番13号~30号) 1丁目(28番) 1丁目(29番11号~28号) 1丁目(30番) 2丁目(6番1号~22号) 2丁目(6番31号~39号) 2丁目(7番~9番) 4丁目(3番6号~18号) 4丁目(4番5号~14号) 4丁目(10番、11番) 5丁目(8番、9番1号~6号) 1丁目(全域) 2丁目(1番~18番)
24	中延小学校	中延 西中延 東中延	1丁目(全域) 2丁目(1番~7番) 1丁目(全域) 1丁目(1番~8番)	35	旗台小学校	旗の台 中延	3丁目(全域) 4丁目(全域) 5丁目(6番~12番) 5丁目(21番~28番) 5丁目(1番、2番) 5丁目(7番~12番)
25	小山小学校	小山 荏原	4丁目(全域) 5丁目(全域) 5丁目(全域)	36	上神明小学校	西大井 豊町 二葉	6丁目(1番) 6丁目(25番~31番) 3丁目(1番~16番) 3丁目(22番~30番) 4丁目(全域)
26	第二延山小学校	小山 荏原 旗の台	6丁目(全域) 7丁目(全域) 6丁目(全域) 7丁目(全域) 1丁目(1番、2番) 1丁目(6番~9番) 6丁目(1番~7番) 6丁目(13番~19番)	37	豊葉の杜学園	西品川 豊町 二葉	1丁目(25番、26番) 1丁目(28番~30番) 2丁目(19番~23番) 3丁目(全域) 4丁目(全域) 5丁目(3番~7番) 5丁目(13番~15番) 1丁目(全域) 2丁目(全域) 3丁目(17番~21番)
27	後地小学校	小山 荏原	1丁目(1番1号、8号~16号) 1丁目(2番5号) 1丁目(3番11号~27号) 1丁目(4番~11番) 2丁目(全域) 3丁目(全域) 1丁目(1番7号~35号) 1丁目(2番5号~15号) 1丁目(3番、4番) 1丁目(5番8号~19号) 1丁目(6番5号~14号) 1丁目(7番、8番) 1丁目(9番5号~12号) 1丁目(10番7号~13号) 1丁目(11番、12番) 1丁目(13番5号) 1丁目(14番8号~12号) 1丁目(19番) 1丁目(24番、25番)				
28	清水台小学校	旗の台	1丁目(3番~5番) 1丁目(10番、11番) 2丁目(1番、4番~13番) 5丁目(1番~5番) 5丁目(13番~20番) 6丁目(8番~12番) 6丁目(20番~33番)				
29	小山台小学校	小山台	1丁目(1番~31番) 1丁目(32番8号~18号) 1丁目(33番1号~4号) 2丁目(全域)				
30	荏原平塚学園	荏原	2丁目(4番~8番) 2丁目(10番~17番) 3丁目(全域) 4丁目(全域)				
31	大原小学校	戸越 豊町	5丁目(9番7号~18号) 5丁目(18番10号~13号) 5丁目(19番、20番) 6丁目(全域) 5丁目(1番、2番) 5丁目(8番~12番) 5丁目(16番~18番) 6丁目(1番~24番)				
	(次へつづく)						

品川区立中学校・義務教育学校（後期課程）通学区域

※ ○○学園は「義務教育学校」を表します。 青文字は通学区域の改正があった住所です。

1 東海中学校		5 富士見台中学校	
北品川	2丁目(20番12号~17号) 2丁目(30番1号~9号) 2丁目(31番~33番) 2丁目(34番1号、2号)	西大井	4丁目(8番~25番) 5丁目(全域) 6丁目(全域)
東品川	1丁目(30番~39番) 3丁目(全域) 4丁目(全域) 5丁目(全域)	豊町	6丁目(25番~31番)
南品川	1丁目(全域) 2丁目(全域) 3丁目(全域) 5丁目(1番~12番) 6丁目(全域)	二葉	3丁目(1番~16番、22番~30番) 4丁目(全域)
東八潮 八潮	(全域) 1丁目(全域) 2丁目(全域) 3丁目(全域)	6 荏原第一中学校	
2 大崎中学校		上大崎	4丁目(全域)
西品川	1丁目(1番~24番、27番) 2丁目(1番~8番) 2丁目(9番4号、6号~14号) 2丁目(10番~24番) 3丁目(全域)	西五反田	3丁目(6番、10番~16番) 4丁目(全域) 5丁目(1番、7番~14番、23番~29番)
大崎	1丁目(全域) 2丁目(全域) 3丁目(全域) 4丁目(全域) 5丁目(全域)	小山台	1丁目(全域) 2丁目(全域)
西五反田	1丁目(11番~23番) 8丁目(4番~12番)	小山	1丁目(全域) 2丁目(全域) 3丁目(全域)
戸越	1丁目(26番1号~4号、25号、26号) 1丁目(27番1号~12号) 1丁目(29番1号~10号、29号~35号) 1丁目(31番)	荏原	1丁目(1番7号~35号) 1丁目(2番5号~15号) 1丁目(3番、4番) 1丁目(5番8号~19号) 1丁目(6番5号~14号) 1丁目(7番、8番) 1丁目(9番5号~12号) 1丁目(10番7号~13号) 1丁目(11番、12番) 1丁目(13番5号) 1丁目(14番8号~12号) 1丁目(19番、24番、25番)
3 浜川中学校		7 荏原第五中学校	
南品川	5丁目(13番~16番)	旗の台	1丁目(3番~5番、10番、11番) 2丁目(1番、4番~13番) 3丁目(全域) 4丁目(全域) 5丁目(全域) 6丁目(8番~12番、20番~33番)
東大井	1丁目(全域) 2丁目(全域) 3丁目(全域) 4丁目(全域) 5丁目(全域) 6丁目(全域)	中延	3丁目(8番、9番、12番、13番) 4丁目(1番、15番~17番)(2番~14番、18番~21番) 5丁目(全域) 6丁目(全域)
南大井	1丁目(1番~17番) 4丁目(1番~5番)(6番~13番) 5丁目(1番~9番)(10番~15番)	東中延	2丁目(7番~10番)
勝島	1丁目(全域) 2丁目(全域) 3丁目(全域)	8 荏原第六中学校	
4 鈴ヶ森中学校		小山	4丁目(全域) 5丁目(全域) 6丁目(全域) 7丁目(全域)
南大井	1丁目(18番~22番) 2丁目(全域) 3丁目(全域) 4丁目(14番~20番) 5丁目(16番~27番) 6丁目(全域)	荏原	5丁目(全域) 6丁目(全域) 7丁目(全域)
(右へつづく)		旗の台	1丁目(1番、2番、6番~9番) 6丁目(1番~7番、13番~19番)
		(右へつづく)	

9 戸越台中学校		13 荏原平塚学園	
荏原	1丁目 (15番～18番、20番～23番) 2丁目 (1番～3番、9番、18番)	荏原	2丁目 (4番～8番、10番～17番) 3丁目 (全域)
平塚	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)		4丁目 (全域)
戸越	1丁目 (1番～18番) 2丁目 (1番～5番、6番23号～30号) 3丁目 (全域) 4丁目 (1番、2番) 4丁目 (3番1号～5号、19号～28号) 4丁目 (4番3号、4号、15号～24号) 4丁目 (5番～9番) 5丁目 (1番～7番、10番～17番) 5丁目 (18番1号～9号、14号～20号)	中延	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (1番～7番、10番、11番)
		旗の台	2丁目 (2番、3番)
		東中延	1丁目 (全域) 2丁目 (1番～6番)
		西中延	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)
10 日野学園		14 品川学園	
上大崎	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)	北品川	1丁目 (全域) 2丁目 (1番～19番) 2丁目 (20番1号～11号、18号～25号) 2丁目 (21番～29番) 2丁目 (30番10号～28号) 2丁目 (34番3号～5号)
東五反田	1丁目 (全域) 2丁目 (1番～15番) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域)		3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域) 6丁目 (全域)
西五反田	1丁目 (1番～10番、24番～33番) 2丁目 (全域) 3丁目 (1番～5番、7番～9番) 5丁目 (2番～6番、15番～22番、30番～32番) 6丁目 (全域) 7丁目 (全域) 8丁目 (1番～3番)	東品川	1丁目 (1番～29番) 2丁目 (全域)
荏原	1丁目 (1番2号、3号) 1丁目 (2番1号～4号、16号、17号) 1丁目 (5番1号～7号、20号) 1丁目 (6番1号～4号、15号) 1丁目 (9番1号～4号、13号、14号) 1丁目 (10番1号～6号、14号) 1丁目 (13番1号～4号) 1丁目 (14番1号～7号、13号～15号)	南品川	4丁目 (全域)
		広町	1丁目 (全域)
		東五反田	2丁目 (16番～22番)
11 伊藤学園		15 豊葉の杜学園	
広町	2丁目 (全域)	西品川	1丁目 (25番、26番、28番～30番) 2丁目 (9番1号、15号～17号、19号、21号、22号)
大井	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域) 6丁目 (全域) 7丁目 (全域)	豊町	1丁目 (1番～10番、13番) (11番、12番、14番～18番) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域) 6丁目 (1番～24番)
西大井	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (1番～7番)	二葉	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (17番～21番)
		戸越	1丁目 (19番～25番) 1丁目 (26番5号～24号) 1丁目 (27番13号～30号) 1丁目 (28番、29番11号～28号) 1丁目 (30番) 2丁目 (6番1号～22号、31号、32号～39号) 2丁目 (7番～9番) 4丁目 (3番6号～18号) 4丁目 (4番5号～14号) 4丁目 (10番、11番) 5丁目 (8番、9番1号～6号) 5丁目 (9番7号～14号) 5丁目 (9番15号～18号) 5丁目 (18番10号～13号) 5丁目 (19番、20番) 6丁目 (全域)
12 八潮学園			
八潮	4丁目 (全域) 5丁目 (全域)		
(右へつづく)			

問合せ先一覧

内 容		担 当	電 話	F A X
入学の手続きについて		学務課 学事係 (第二庁舎7階)	5742-6828	5742-0180
就学時健康診断・学校の給食について		学務課 保健給食係 (第二庁舎7階)	5742-6829	5742-0180
品川区の教育 について	小中一貫教育、 英語教育など	指導課 指導主事 (第二庁舎7階)	5742-6595	5742-6892
	市民科など	教育総合支援センター 指導主事 (西五反田6-5-1 4階)	5740-8200	3490-2007
発達に不安のあるお子さんの 就学について		教育総合支援センター 特別支援教育係 (西五反田6-5-1 4階)	5740-8202	3490-2007
品川区ホームページアドレス		https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/		

MEMO

令和5年度 新入学児童用 品川区立小学校・義務教育学校 学校案内

小学校・義務教育学校案内パンフレット

編集 **品川区教育委員会事務局**

学務課 受付時間 午前8時半～午後5時15分(土曜日・日曜日・祝日を除く。)

〒140-8715 品川区広町2丁目1番36号 防災センター・第二庁舎7階

TEL 03(5742)6828 FAX 03(5742)0180
